

科目名	<b>国語総合</b>	教科	国語	単位数	4
教材	①新編国語総合(東京書籍)、②記入してわかるやさしくわしい古典文法ノート(尚文出版)③、カラー版新国語便覧(第一学習社)、④アシスト常用漢字(数研出版)	教材費 (予定定価)	①910円 ②497円 ③950円 ④615円		

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	国語についての知識を深める。文学作品等の読解を通じ、内容を的確に理解する能力を育む。また、発表や作文等の活動を通じ、内容を的確に伝える能力を育む。また、それらの能力を活かし、生涯にわたって日常の言語活動を豊かにしようという態度を育む。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	音読、板書での解説、調べ学習等を通じ、教材を読み深める。学んだ内容を踏まえ、自分の意見を述べるような、作文や発表の活動を行う。適宜演習プリント等を用い、習熟状況を確認する。
評価方法	定期考査を実施。授業への取り組みの姿勢、提出物の状況、漢字テストの結果などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) ・現代文 随想石川直樹「海流 ミクロネシア」、角田光代「待つということ」 ・古文 古典に親しむ(竹取物語、平家物語、源氏物語、徒然草ほか) 児のそら寝(古今著聞集)	作者の考えと具体例を分けてとらえ、順を追って読み深める。 それについて自分の意見を持ち、発表する。 古典的仮名遣い、用言の活用を学び、読解を深める。 当時の風俗への理解を深め、現代と比べ読み味わう。
(2学期) ・現代文 小説 芥川龍之介「羅生門」 ・古文 うつくしきもの(枕草子)	登場人物の心情を深く掘り下げて読み味わう。 小説のおもしろさを自分なりに表現する。 助動詞の活用を学び、読解を深める。 当時との価値観の違い等を学び、現代との違いを考える。
(3学期) ・漢文 春暁(唐詩選)、贈汪倫(李太白文集) ・現代文 小説 三浦哲郎「とんかつ」	漢文の構造を学び、読み味わう。 登場人物の心情を深く掘り下げて読み味わう。 味わった内容を、自分の言葉で表現する。

評価の観点

関心・意欲・態度	古今の文芸作品、評論を読む楽しさを味わい、人生を豊かにする態度を育てる。作品への関心を高め、幅広い学びに繋げる意欲をもつ。
話す、聞く能力	作者の主張や作品内容に触れ、感じたことを自分で説明する。また、互いに解釈を聞きあう。
書く能力	作者の主張や作品内容に触れ、感じたことを自分の言葉にして残す。それを伝えるための手段を工夫する。
読む能力	作者の主張や作品内容を的確に読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにして読み味わう。評論的文章の内容を的確に読み取り、自分の意見をもつ。
知識、理解	作品理解に役立つ文法、表記、語句、語彙、漢字等の知識を身に付けている。作品の背景となる事象を適宜理解する。

科目名	<b>国語表現</b>	教科	国語	単位数	2
教材	①国語表現改訂版(大修館書店) ②国語表現改訂版基礎練習ノート(大修館書店)		教材費 (予定定価)	①400円 ②702円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	漢字、文章の組み立て方など、文章を書くための基礎を学びたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	よい文章を書くための基礎である、正しい表記に対する知識と理解を深める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	具体的に目的を設定した作文練習を積むことで、言葉の運用力全般を高める。
評価方法	定期考査を実施。課題への取り組みの姿勢・提出物の状況・小テストの結果などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 簡単な作文 「整った文を書く」 「わかりやすい文を書く」 「文のつなぎ方」	身近なことについて簡単な文章を書く。 適切な用字用語に関する知識・理解を深める。 文章による伝達に必要な基本を学ぶ。
(2学期) 文章の要約・小論文 「小論文・レポート入門」 「自己PRと面接」	やや複雑な内容について文章を書く。 自分を他者に的確にアピールする。
(3学期) 手紙の書き方 「メディアを駆使する」	手紙の書き方を習得する。 場面に応じた言葉遣いを身に付ける。

評価の観点

関心・意欲・態度	国語による表現に関心をもち、相手の立場を尊重しつつ自己の主張や思考を効果的に表現し、社会生活にそれを活用することができる。
話す・聞く能力	積極的に自分の意見を発表し、真摯に他の意見を聞くことができる。
書く能力	言葉遣いや文体を工夫した文章を書き、自らの表現をより良いものにすることができる。
知識・理解	常に新しい情報・知見を獲得する態度をもちつつ、それを自らの言語表現活動に生かすことができる。

科目名	現代文B	教科	国語	単位数	3
教材	①明解現代文B(三省堂) ②新常用漢字必携パーフェクトクリア(尚文出版) ③カラー版新国語便覧(第一学習社)	教材費 (予定定価)	①865円 ②561円 ③950円		

共通履修科目	選択する学年	2
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。 多くの文章に触れることによって、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	近代以降の様々な文章を読み解きながら、内容についての理解を深める。また、他者の意見を聞き、感想や自分の意見をまとめることで、考えを深める手立てとする。
評価方法	定期考査を実施。授業での漢字テスト、課題への取り組みの様子、提出物の状況などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 随想 俵 万智「葉桜の頃」 評論 長谷川真理子「コンコルドの誤り」 小説 内海隆一郎「芋ようかん」 評論 松沢哲郎「想像する力」 詩 中原中也「汚れちまった悲しみに」 新川和江「耳の秋」 入沢康夫「未確認飛行物体」	文章の構成に着目して要旨を捉える。  文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合う。  文語による定型の詩の特徴を理解し、さまざまな表現形式による現代詩のおもしろさを味わう。
(2学期) 随想 佐藤雅彦「前の駅出ました」 小説 井上ひさし「ナイン」 随想 飯間浩明「反対語を意識して考えよう」 評論 原研哉「持たないという豊かさ」 実用の文章1 手紙とメール	認識における視点の切り替えの重要性、また文法においては、副詞の正しい使い方を知る。 登場人物たちの人間関係と、そこから生まれるそれぞれの思いを理解する。小説の構成を知る。 日常生活の中で使っている言葉がもつ問題点を知る。 評論における重要なキーワードと、それをとおして導き出される論理を理解する。  手紙とメールの文章の違いと、それぞれの書き方を理解し、実用文を書けるようにする。
(3学期) 小説 夏目漱石「こころ」 短歌 ただ一枚の絵はがき 短歌十二首	登場人物の行為や心情に対する理解を深め、小説の主題について、自分なりの見解を形成する。 それぞれの短歌の表現上の工夫と、それによって描かれている情景や心情を捉える。

評価の観点

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりについての理解を深め、知識を身に付けている。

科目名	現代文B	教科	国語	単位数	3
教材	①明解現代文B(三省堂)、②新常用漢字必携パーフェクトクリア(尚文出版)、③その他		教材費 (予定定価)	(2年より継続)	

共通履修科目	選択する学年	3
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	近代以降の様々な文章を読み、内容について理解を深め、意見や感想をまとめたり、発表したりする。
評価方法	定期考査を実施。考査および、授業における漢字テスト、提出課題等を総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 随想 さくらももこ「春の小川の思い出」 随想 小川洋子「誰の目にも触れないところで」 評論 岩井克人「ホンモノのおカネの作り方」 詩 吉原幸子「ユメカサゴ」 話す・聞く 自己PRをしよう	身近なできごとを取りあげた随想の中に表現されている心情やものの見方を捉える。 筆者のものの捉え方を理解し、自分の身の回りの経験に即して考える。 具体例とそこから導き出される論理とを整理してまとめる。 詩の中で形象化されているイメージがどのようなものであるのかを読み取る。 自分の長所を客観的に捉え、整理して文章を書き、模擬面接の中で聞かれたことを実際に表現する。
(2学期) 随想 茂木健一郎「最初のペンギン」 評論 鷲田清一「『自由』のはき違え」 評論 加藤周一「知るということ」 小説 恩田陸「ピクニックの準備」	新しい発想や着眼点から書かれた随想を読み、人間と人間が生きる社会とはどのようなものかを捉える。 文章の中での重要語句(キーワード)に着目し、どのようにして結論に至るか、その道筋を捉える。 一つずつ段落を追い、結論へと至る論理展開の流れをつかみ、筆者の主張を捉える。 登場人物のそれぞれが置かれた状況とその思いを捉える。
(3学期) 評論 別役実「なまけものコンプレックス」 書く 自分の意見を書こう	具体例をとおして語られる現代人間社会への批評的視点を捉える。 「かけがえのない未来」を読んで、自分の意見を文章で表現する。

評価の観点

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

科目名	<b>古典A</b>	教科	国語	単位数	2
教材	①古典文学選 古典A(教育出版)、②記入してわかるやさしくわしい古典文法ノート(尚文出版)		教材費 (予定定価)	①645円 ②496円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	古典に興味をもち、生涯にわたりそれに親しめるよう積極的に学習に取り組む人。発表、グループワークに意欲的に取り組む人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	古典の面白さを知ることを通して、伝統、文化に対する理解を深める。基本的な文法的知識に基づいた、古典の読解力、理解力を養う。多様な形式のグループワーク、表現活動を通じて、古典をより身近に感じ、生涯にわたって古典に親しむ態度を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	古典的仮名遣い、新出単語、文法事項等を理解する活動と、多様な形式の発表活動を通じて読解を深める言語活動の2面構成とする。教科書に即した独自のプリントをもとに活動する。グループワークも適宜行う。
評価方法	定期考査を実施。授業への取り組みの姿勢、1回ずつの授業の課題の状況などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) ・古文 筒井筒(伊勢物語) 中納言参り給ひて(枕草子)	動詞の活用等1年次に習得した文法的知識を確認する。歴史的仮名遣いを理解する。音読の習慣を身に付ける。適宜バズセッション方式を用い、グループワークと発表活動を通じて、作品を読解する。当時の代表的な作家の作品とその背景を学び、古典に親しむ素地を身に付ける。
(2学期) ・漢文 先従隗始(十八史略) ・古文 三船の才(大鏡)、面影ばかり(建礼門院右京大夫集)	句法、返り点、置字等、読解のための知識を身に付ける。インタビュー形式、創作現代語訳等、自分なりの表現方法で、学んだ内容を互いに共有する。助動詞等1年次に習得した文法知識をさらに深める。辞書の引き方を学ぶ。当時の社会背景を、調べ学習を通じて学び、発表し合うことで、作品の読解に役立てる。
(3学期) ・古文 光る君誕生(源氏物語)	尊敬語、謙譲語等の敬語の知識を深める。自分なりに読解を深め、発信方法を自ら選択し、互いに発信する。そのフィードバックを受け、改善して最終発表をする。

評価の観点

関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わい、人生を豊かにする態度を育てる。作品解釈に必要な文法知識、当時の風俗への関心を高め、幅広い学びに繋げる意欲をもつ。
読む能力	古典に現れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。内容や表現の特色、現代との価値観や風俗の違いを理解して読み味わう。
知識・理解	古典の理解に役立つ文法、表記、語句、語彙、漢字等の知識を身に付けている。古典特有の表現を味わい、古典の言語と現代の言葉について理解している。

科目名	<b>古典B</b>	教科	国語	単位数	4
教材	①高等学校 標準古典B(第一学習社) ②記入してわかるやさしくくわしい古典文法ノート(尚文出版)	教材費 (予定定価)	①905円 ②496円		

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術(2)・ビジネスコミュニケーション(3)
---	--------	------	---------	-----------------------------

自由選択科目	選択する学年	2・3
--------	--------	-----

選択の条件	なし
選択のめやす	古典読解のための確かな知識を身に付けたい人。歴史に興味がある人、人間に興味がある人。日本最古のSFと言われる作品や四字熟語のもとになった話などを学ぶ。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	古典としての古文と漢文を読む能力を養い、理解や関心を深めることにより、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする態度を育てる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	古典(古文・漢文)を読み、内容を理解し、その歴史的背景等も考察していく。予習・復習を欠かさず、授業中も積極的に自らの考えを発表すること。
評価方法	定期考査を実施する。その他、授業への取り組みの姿勢・提出物の状況・小テストの結果などを総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 古文 小式部内侍が大江山の歌の事<古今著聞集> 亀を買ひて放つ事<宇治拾遺物語> かぐや姫の昇天<竹取物語> 漢文 故事・寓話等	古典の言葉に慣れ、用語の活用、助動詞の意味、漢文の句法等を知る。  語句の意味、文章の構造を理解する。  内容を的確に理解し、文章に表れた感情を読み取る。
(2学期) 古文 初冠・通ひ路の関守<伊勢物語> 門出・源氏の五十余巻<更級日記> 漢文 漢詩等	文章に表れた人間や社会に対する考え方を読み取り、理解を深める。  様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。
(3学期) 古文 光る君誕生・若紫<源氏物語>	

**評価の観点**

関心・意欲・態度	伝統的な言語文化に触れ、古典を読む楽しさを味わい、我が国の伝統と文化に対する関心を深め、人生を豊かにしようとしている。
読む能力	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。内容や表現の特色を理解して読み味わうことができる。
知識・理解	古典の理解に役立つ文法・表記・語彙等の知識を身に付けている。古典特有の表現を味わい、古典の言語と現代の言葉について理解している。

科目名	<b>現代文演習</b>	教科	国語	単位数	2
教材	①LT現代文LT1(浜島書店) ②担当者作成プリント			教材費 (予定定価)	①589円 ②なし

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術・子どもと暮らし
-----------------------	--------	------	---------	-----------------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	3
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	現代文に関する知識、現代文を読み解くための確かな力を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	一定の手順に従って論理的に考えることで文章全体をつかむ力と要約文にまとめる力を総合的に身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	形式段落ごとに短く区切って正確に読み、中心文を探し、段落メモをまとめながら段落の役割を考える練習をすることで、文章の構成を正確につかむ読み方を身に付ける。
評価方法	定期考査を実施。授業への取り組み(活動の様子、課題の提出状況、小テストの結果)などを総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 随筆、社会論、思想的文章、小説	各学期、それぞれのジャンルの文章に関して  問題解答に必要な漢字・語句・文法・表現効果・出典作品・作者などを理解し、知識を身に付ける。
(2学期) 科学・文明論、短歌の鑑賞、言語論	形式段落ごとに短く区切って正確に読み、キーワードや中心文を探し、段落メモをまとめながら段落の役割を考える。  段落メモにキーワードを入れ、各段落の役割を考え、文章全体を正確につかむ。
(3学期) 環境論、現代詩の鑑賞、漢字のチェック	論の中心となる段落に着目して要約文の内容を確定し、字数に合わせて短くまとめる。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	随筆、社会論、思想的文章、小説などさまざまな内容の文章を通して、文化や社会に対する関心を深め、積極的に関わろうとする姿勢を身に付けている。
書く能力	教材文の要約文を作ったり、設問に応じた的確な解答を作成したりできる。
読む能力	さまざまなジャンルの教材文を形式段落に短く区切って正確に読み、文章全体の内容を的確に把握できる。
知識・理解	あらゆる文章を理解するために、その構造や特色を理解し、豊かな語彙や言語知識を身に付けている。

科目名	古典演習	教科	国語	単位数	2
教材	①LT古文LT1(浜島書店) ②担当者作成プリント		教材費 (予定定価)	①589円 ②なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	3
---	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	古典、特に古文に興味をもち、その読解のための確かな知識を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	文法事項の確認や、古文の解釈・内容把握を通して、古文読解力の基礎を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	記述式と選択式の問題にバランス良く取り組むことにより、古文読解の基礎力を養う。
評価方法	定期考査を実施する。課題への取り組みや提出物の内容などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 動詞・形容詞・形容動詞・副詞を中心とした文法事項の確認および基礎的なレベルの古文の問題演習。	『宇治拾遺物語』『古今著聞集』『発心集』などの説話文を中心にした、基礎的なレベルの古文を用いて問題演習を行う。
(2学期) 助動詞・助詞を中心とした文法事項の確認および標準的なレベルの古文の問題演習。	『竹取物語』『堤中納言物語』『源氏物語』などの物語文を中心にした、標準的なレベルの古文を用いて問題演習を行う。
(3学期) 敬語法・和歌の修辞を中心とした文法事項の確認および応用的なレベルの古文の問題演習。	『大鏡』『伊勢物語』『和泉式部日記』『蜻蛉日記』などの幅広いジャンルの文章を用いて、実践的な問題演習を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	演習問題などの課題に積極的に取り組み、古文についての理解や関心を深めようとしている。
読む能力	古文の内容を、構成や展開に即して的確にとらえることができる。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。



科目名	医療看護国語	教科	国語	単位数	2
教材	独自教材(演習問題、入試過去問題)		教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3	<input type="radio"/> 単一選択	<input checked="" type="radio"/> 複数選択可
------------------------------	--------	---	----------------------------	----------------------------------------

選択の条件	なし
選択のめやす	看護師・医療系大学・短期大学・専門学校に進学を希望する人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	看護系への就職、進学をするための看護系国語に対する基礎力の徹底をはかり、医療看護模試、入試に十分対応できる応用力・実践力を身に付けることを目標とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	各看護医療系大学、専門学校の過去の入試問題の演習を中心に学習する。入試で頻出の語句、漢字の読み書き、言葉の使い方、文学史、文章読解について学習する。必要に応じて小テストを実施する。
評価方法	定期考査を実施。授業への積極的な取り組みの姿勢、提出物の状況、小テストの取り組み方、結果などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<p>(1学期)</p> <p>医療、看護系の大学、専門学校の基礎から標準レベルの入試問題を用いた演習問題を行う。</p> <p>入試問題に頻出する漢字を学習し、入試に必要とされる基礎学力の徹底をはかる。 将来、医療従事者の常識となる慣用句・ことわざ・四字熟語・故事成語を学習する。</p> <p>入試問題に頻出する文学史について学習する。</p>	<p>語彙、漢字、ことわざ、慣用句を学習し、国語の基礎学力を養う。</p> <p>評論、随筆、小説、詩歌、古文といった幅広い文章読解を通して、入試に対応できる実践力を身に付ける。</p> <p>プリント教材を用いて文学史について理解し、入試問題に対応できるようにする。</p>
<p>(2学期)</p> <p>1学期の学習内容を踏まえ、応用レベルの入試問題を用いた演習問題を行う。</p>	<p>入試の面接試験や、医療現場にも対応できる、適切な言葉遣いについて学び、コミュニケーション能力を高める。</p>
<p>(3学期)</p> <p>1、2学期の学習内容の総まとめを行う。 卒業後、進学先、就職先で必要となる適切な言葉遣いをおさえる。</p>	

評価の観点

関心・意欲・態度	医療看護従事者になるための試験・面接への対応、また、実際の医療現場で必要とされる専門用語の知識や患者とのコミュニケーションの取り方を意欲を持って身に付けようとしている。
話す・聞く能力	患者とのコミュニケーションを円滑にするため、医療専門用語の理解はもちろん、患者の信頼を得て、不安を取り除くための話し方、話の聞き方を身に付けている。
書く能力	将来医療従事者として、患者の容態、状況を正確に記載できるよう、語彙力、表現力を身に付けている。
読む能力	文章読解を通し、文書に記載された内容を的確に読み取ることができる。
知識・理解	生命に関わる仕事に携わることになることを意識し、迅速かつ正確に状況を判断し報告・連絡・相談ができるよう、話すこと、聞くことにおける十分な知識(語彙力・表現力)を身に付けている。

科目名	<b>小論文演習</b>	教科	国語	単位数	2
教材	①〈改訂版〉楽しく書ける作文・小論文 入門編「四〇〇字で書こう」(桐原書店) ②担当者作成プリント	教材費 (予定定価)	①498円 ②なし		

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術・子どもと暮らし・自然科学と情報
-----------------------	--------	------	---------	-------------------------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	3
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	小論文や作文の作成に興味をもち、その上達のための技術を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	自分の考えを、文章で論理的に表現する力を養うことを目標とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	実際にさまざまなテーマに沿って論理的な文章を書く。書いた文章の添削を通じて、各自の文章の欠点を改める。
評価方法	定期考査は実施しない。小論文の作成に関する基本的な知識の理解度(小テストなどで確認)、授業への取り組み(活動の様子、課題の提出状況)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 小論文を書く準備 原稿用紙の使い方・文章の構成法 小論文の典型的な「型」	小論文を書くうえでの基本的な知識の習得する。 頭括型・尾括型などの構成パターンについて学ぶ。
(2学期) 小論文を書く① 出題形式別小論文作成法	テーマ型・課題文型・データ型・融合文型等、出題形式別の小論文作成方法の学習する。
(3学期) 小論文を書く② 2000字程度の長めの小論文の作成法	実際の入試問題を解くことにより、実践力を養成する。

評価の観点

関心・意欲・態度	毎時間の課題にまじめに取り組み、表現力を高めようと努力している。
書く能力	論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいた自分の考えを文章にまとめることができる。
知識・理解	作文・小論文の作成や課題文読解のために必要な語彙力を高めるとともに、文法や表記についての正しい知識を身に付けようとしている。

科目名	<b>実用国語</b>	教科	国語	単位数	2
教材	担当者作成プリントおよび「基礎から学べる！文章力ステップ」 (日本漢字能力検定協会)	教材費 (予定定価)	756円		

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	ビジネスコミュニケーション
-----------------------	--------	------	---------	---------------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	3
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	漢字、文章の組み立て方など文章を書くための基礎を学びたい人。 グローバルな視点で言語的素養を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	実用的な文章を読み書きするための一般常識的な知識や技能を身に付けるとともに、 就職試験や入試にも対応できるような実践力を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	主に調べ学習や問題演習を通じて力を付ける。
評価方法	定期考査を行い、実用的な文章を読み書きするための国語力が養われているかを判定する。 また提出課題や発表に対する取り組みも含めて総合的に評価を行う。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 第1章 語彙・文法	語彙や文法について事前に調べ学習を行い、授業中に発表を行う。
第2章 資料分析	棒グラフ・表・折れ線グラフのデータと文章を対照させて読む方法を学ぶ。
(2学期) 第3章 文章読解	文脈における言葉の意味を捉える。指示語や接続語を捉える。段落の要点を捉える。 文や段落の役割を捉える。段落関係を捉える。文章の構成を捉える。文章の要旨を捉える。
第4章 手紙文	手紙に必要な知識を学ぶ。敬語の基本知識を学ぶ。読んで分かりやすい表現を学ぶ。 適切な表現・表記を学ぶ。手紙文の推敲の仕方を学ぶ。手紙文を作成する。
第5章 意見文	事実と意見と感想を区別できるようにする。事実を思い出すトレーニングを行う。文章の構成について学ぶ。
(3学期) まとめ問題	意見文の構成について学ぶ。意見文中の事実のあり方を考える。理由の述べ方のポイント。 意見文を書く手順について。意見文を書く。  第一章から第五章までに学んだことを、演習形式で確認する。

評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活における様々な文章を理解し、表現する力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深めようとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深めている。
書く能力	相手や目的にふさわしい形態や文体、語句などを考え、適切に選ぶことができる。
読む能力	様々な文章を叙述に即して的確に読み取ることができる。
知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>児童文学講座</b>	教科	国語	単位数	2
教材	独自教材(プリントなど)	教材費 (予定定価)	なし		

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	子どもと暮らし
---	--------	------	---------	---------

自由選択科目	選択する学年	3
--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	図書館司書や保育士・幼稚園教諭を目指す人。昔話や絵本に関心がある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	日本の昔話等に関する基本的な知識を学び、自らその継承と普及ができる能力を養う。絵本の内容を正しく理解し、それを多方面で活用できる能力を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	伝統的な昔話や伝説などについて学ぶ。また、絵本を鑑賞し、読み聞かせの技能習得や絵本作りの実践などを行う。
評価方法	授業への取り組みの姿勢・提出物の状況・小テストの結果などから総合的に判断する。 定期考査は実施しない。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 昔話・伝説に関する基本的な知識を習得する。 伝説と昔話の違いについて 日本の昔話、伝説鑑賞 奈良の昔話、地域の昔話収集 世界の昔話・伝説との比較	動画視聴や絵本の鑑賞を通じて、主な日本の昔話や伝説について学ぶ。
(2学期) テーマに沿って絵本を集めたり、図書館などでの絵本展示の仕方について考えたりする。読み聞かせの技能を高める。	図書館司書の話や園児や児童との交流活動を行う。 絵本を読み、グループワークなどで絵本を紹介し合う。
(3学期) オリジナルストーリーを考え、絵本を作成する。	これまでの学習を通して、児童文学作品を作成する。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	昔話や絵本に興味をもち、園児や児童に読み聞かせる技能の習得に取り組もうとしている。
話す・聞く能力	作品の特徴を生かして朗読するなどして、本の内容を園児や児童に読み聞かせるための技能(的確な読む速さ、声の大きさ、間の置き方など)を身に付けている。
書く能力	多くの昔話や絵本に対するあらすじや感想を書くことができ、評価をし合うことができる。
読む能力	昔話や絵本の内容を正しく読むことができる。
知識・理解	正しい知識に基づき、園児や児童の発達段階や季節等に適した本を選択できる。

科目名	<b>スピーチ入門</b>	教科	国語	単位数	2
教材	独自教材	教材費 (予定定価)		なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

自由選択科目	選択する学年	3	○ 単一選択 ☆ 複数選択可
--------	--------	---	----------------

選択の条件	なし
選択のめやす	正しい日本語、敬語の使い方を身に付けたい人、面接試験に対応したスピーチの力を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	適切な日本語の使い方、場面に応じた言葉遣い、スピーチの力を身に付け、コミュニケーション能力を高める。自己PR、志望動機といった面接試験の問答にも対応した「話す力」を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	演習プリント、ワークシートを作成し、スピーチにふさわしい言葉遣いを学ぶ。スピーチの実習を通して、スピーチにおけるマナー(話す姿勢、聞く姿勢)や言葉遣いを学ぶ。
評価方法	定期考査を実施。授業で使用するプリントの取り組む姿勢、提出状況、発言内容、小テスト、スピーチの発表内容、聞く姿勢など総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 敬語、口語文法、語彙、漢字、など国語の基礎力養成。 「話すこと・聞くこと」の前提となるスピーチの基礎技術を学ぶ。 スピーチ実習 スピーチの姿勢、発声、抑揚といった基礎技術の学習 スピーチの構成	プリント、ワークシートを用いて、敬語、口語文法、語彙、漢字の演習問題を行い、文章作成における基礎的な国語力を養う。確認のため、適宜小テストを行う。 スピーチ原稿の作成、スピーチの実習を行う。 スピーチ手順を学ぶ。 スピーチ実習を学ぶ。 発表内容について質疑応答を行う。
(2学期) 場面に応じた言葉遣い 面接試験、電話対応、接客、各式典(結婚式など)でのスピーチにおけるマナー、言葉遣い スピーチ実習 1学期のスピーチ実習を踏まえ、式典でのスピーチの実践。	発表者を聞き手が評価を行う。 発表者自身も自己評価を行う。 各場面に応じた適切な言葉遣いについて、ワークシートを用いて学習する。
(3学期) 1、2学期の総まとめ。卒業式におけるスピーチを考える。	

**評価の観点**

関心・意欲・態度	「話す」ことに対して意欲的に取り組み、スピーチにふさわしい態度を心がけている。適切な日本語を学ぼうとする意欲が見られる。
話す・聞く能力	自らの意見や思いが相手に的確に伝わるような表現を用いてスピーチができる。場面に応じた、適切な言葉遣いできている。スピーチを聞き、話し方で工夫している点を
書く能力	レジュメ作成において、適切な文章表現を用いて、自らの意見や思いを文章にまとめることができる。
知識・理解	適切な日本語表現を理解し、自らの意見、思いを練り上げ、スピーチ、文章作成に生かすことができる。

科目名	<b>世界史A</b>	教科	地歴	単位数	2
教材	①明解世界史A(帝国書院) ②ダイアログ世界史図表(第一学習社)	教材費 (予定定価)		①680円 ②885円	

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	世界の歴史的事項の基本内容について理解を深め、世界史への関心を強める。 世界史の流れを理解し、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書や資料集の写真・地図を参考に基本事項の理解と関心を高める。 復習プリントを利用し、重要事項の把握と理解を行う。
評価方法	定期考査と、レポート提出の状況、授業中の発言、メモを取ることができているかなどの授業への取り組みを総合的に評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>【1学期】</b> 人類の発生 四大文明 古代ギリシア・ローマ時代	古代世界成立の多様性を学習する。 プリントを利用し、四大文明の特徴を比較する。 ローマ帝国の成立とその特徴をまとめる。
<b>【2学期】</b> イスラム世界の成立と拡大 大航海時代 アメリカ独立戦争	各地域の関わり合いの進展と混乱をたどる。 大航海時代が訪れた背景を学ぶ。 アメリカの独立を始め、社会の変容を理解する。
<b>【3学期】</b> 2つの世界大戦 現代の世界	2つの世界大戦とファシズムの台頭についての学習から、現代の世界の課題を探る。

評価の観点

関心・意欲・態度	世界の多様な歴史の枠組みと流れに対する関心と問題意識を高めている。 授業において積極的に発言し、歴史への関心を高めようとしている。
思考・判断・表現	世界史の流れを把握し、その因果関係についての理解や説明ができている。 課題レポートを正確にまとめ、自分の言葉で表現できている。
技能	歴史地図・年表・文献等から、歴史の流れや因果関係を読み取ることができている。
知識・理解	世界の多様性についての基本的な知識と、異文化に対する理解を深めている。

科目名	<b>世界史B</b>	教科	地歴	単位数	4
教材	①世界史B新訂版(実教出版) ②ダイアローグ世界史図表(第一学習社)	教材費 (予定定価)	①845円 ②継続使用		

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	世界史に関心があり、広い視野で歴史的教養を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	世界史の流れを理解し、歴史的思考力を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書や資料集の写真・地図を参考に基本事項の理解と関心を高める。 復習プリントを利用し、重要事項の把握と理解を行う。
評価方法	以下の各観点をもとに、レポートの内容、定期考査の結果、授業中の発言内容・メモの取り方などの積極的な授業態度を総合的に評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
先史の世界 オリエントと地中海世界 アジア・アメリカの古代文明 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 イスラーム世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 アジア諸地域の繁栄 近世ヨーロッパ世界の形成と展開 近世ヨーロッパ世界の形成と展開 近代国民国家の発展 帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦 冷戦と戦後世界の変容	授業は講義形式で行い、板書またはプリントを通して、世界史内容を習得する。  視聴覚教材や資料等を活用して、歴史内容を深く理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	世界の多様な歴史の枠組みと流れに対する関心と問題意識を高めている。
思考・判断・表現	世界史の流れを把握し、その因果関係についての理解や説明ができています。
技能	歴史地図・年表・文献等から、歴史の流れや因果関係を読み取ることができています。
知識・理解	世界の多様性についての基本的な知識と、異文化に対する理解を深めている。

科目名	日本史A		教科	地理歴史	単位数	2
教材	①高校日本史A(7実教 日A309) ②写真資料館 日本史のアーカイブ(とうほう)			教材費 (予定定価)	①660円 ②915円	

共通履修科目	選択する学年	2
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	幕末以降の日本の歴史を学習することを通して、現代の日本社会形成の経過と、近隣諸国などとの関係について認識を深める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・資料集・ノート・授業プリントなどを用いて教科書の内容を具体的に展開し、実部教材や視聴覚教材を用いて歴史的関心を広げる。
評価方法	定期考査と授業への取組の様子などから総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) ・近代への転換 ・大日本帝国の形成 ・大日本帝国の展開	幕末から明治時代の変革・変容を、諸外国との関係とともに学習する。
(2学期) ・両大戦間の世界と日本 ・15年戦争と日本・アジア	20世紀前半の内政と侵略戦争の経緯をたどり、社会の変容を学習する。
(3学期) ・戦後改革と高度経済成長 ・現代の世界と日本	戦後史の学習を通じて、現代の日本の成り立ちを学び、今後の課題を探る。

評価の観点

関心・意欲・態度	日本の近現代史に関心をもち、授業で積極的に発言するなど流れを理解しようとする姿勢が見られる。
思考・判断・表現	様々な歴史的出来事の因果関係をつかみ、それを自分の言葉で表現しようとしている。
技能	史料文献や歴史地図、新聞記事を使用して、歴史の流れや因果関係が読み取ることができる。
知識・理解	日本の近現代史に関する出来事や用語などの知識を理解している。



科目名	日本史B	教科	地歴	単位数	4
教材	①高校日本史B(実教出版)、②新詳日本史(浜島書店)		教材費 (予定定価)	①830円 ②939円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	2
---	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	日本史に関心がある人。受験科目に必要な人。進学する専攻内容の基礎として必要な人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	日本史の教養や受験に対応する基礎力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・資料集・プリント等により学習する。
評価方法	以下の各観点をもとに、レポートの内容、定期考査の結果、授業中の発言内容・メモの取り方などの積極的な授業態度を総合的に評価します。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1. 原始・古代 旧石器時代～大和政権 飛鳥時代～国風文化	旧石器時代から古代国家の成立、貴族社会までを講義形式で学習する。
2. 中世 院政の時代～北条氏の専制 建武の新政～東山文化	武士の登場から鎌倉幕府・室町幕府の成立及び、中世の社会・文化について講義形式で学習する。
3. 近世 信長～鎖国 幕府政治の転換～天保の改革	戦国時代から江戸幕府成立及び、その後の幕府政治の展開について講義形式で学習する。
4. 近代 ペリー来航～大日本帝国憲法の制定 条約改正～大正デモクラシー 満州事変～日本の敗戦	近代国家の形成過程及び、その後の展開について講義形式で学習する。
5. 現代 日本占領～サンフランシスコ平和条約 主権回復後の日本	戦後日本の歩みについて講義形式で学習する。

評価の観点

関心・意欲・態度	歴史的な事象に関心をもっている。 日本史を学ぼうとする意欲や態度がある。
思考・判断・表現	教科書の内容を正しく把握している。 歴史的な事件の原因・結果・影響が理解できる。 上記の内容を、口答または文章でわかりやすく表現できる。
技能	歴史的な史料を正しく読解・理解できる。 日本史の教養が身につく、日常でも活用できる。
知識・理解	日本史の流れや時代のイメージを理解できる。 日本史理解に必要な知識を身に付けている。

科目名	地理A	教科	地歴	単位数	2
教材	①高校生地理A(帝国書院) ②地歴高等地図(帝国書院)		教材費 (予定定価)	①640円 ②1,728円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2年
------------------------------	--------	----

選択の条件	なし
選択のめやす	以下の条件に当てはまる人。 地理に興味がある、環境問題に興味がある、自然災害の被害を減らしたい、都市計画やまちづくりに興味がある、より良い社会をつかっていきたい、旅行が好き、地図を見るのが好き、知らない土地に行くワクワクする。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	地理学は、地域の特性を研究していく学問である。地形、気候、風土、文化といった諸々の環境が私たち人間の生活にどのように影響を及ぼしているのかを調べる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書や資料集の写真・地図を参考に基本事項の確認を行う。 プリントや視聴覚教材を利用し、重要事項への関心を高める。
評価方法	以下の各観点にもとづいて各学期の定期考査の結果、ノートの提出状況、レポートの内容などを総合的に評価する。

### 学習計画 (1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
旅からとらえる現代社会	情報通信・交通、地図、緯度経度、時差、国家、貿易について基礎的な事項を学習する。
世界の自然環境と文化	地形、気候、宗教・言語について学習する。
世界の諸地域の生活	中国、東南アジア、イスラム圏、ヨーロッパ、アメリカ合衆国、ラテンアメリカなどの地誌について学習する。
地球規模で広がる課題	人口、食料、都市環境などの課題について学習する。
身近にあるさまざまな地図	身近な地図について学習する。
日本の自然環境と防災	日本の地形と防災について学習する。
身近な地域の課題と地域調査	地域調査に出て、レポートにまとめる。

### 評価の観点

関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、その地域性を多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を公正に判断する。
技能	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択・活用することで、地理的スキルを身に付けるとともに、追究した過程や結果を適切に表現する。
知識・理解	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄の追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。

科目名	世界遺産	教科	地歴	単位数	2
教材	①『きほんを知る世界遺産 44』世界遺産検定4級公式テキスト(マイナビ) ②『はじめて学ぶ世界遺産100』世界遺産検定3級公式テキスト(マイナビ)		教材費 (予定定価)	①1,026円 ②1,500円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	2
---	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	地理、日本史、世界史などに興味をもつ人。 世界遺産を、紛争や開発、自然環境破壊から守り、次世代に残そうと思う人。 地球環境を守り、人々が互いに尊重しあう平和な世界をめざそうと思う人。 世界遺産検定4級・3級取得に挑戦する気持ちが強い人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	わが国と世界の伝統文化について興味関心を高める。 国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。 世界遺産検定4級・3級取得。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	テキストにより基本事項を学び、ワークシートや視聴覚教材によりさらに学習を深める。仕上げとして、検定問題に取り組み、検定受験にも対応する。
評価方法	評価については、以下の各観点に基づき、各学期の定期考査、レポート、ノート提出、発表などを総合的に判断します。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
【1学期】世界遺産の概要、日本の世界遺産1 ※ 夏休みの宿題 例 世界遺産見学レポート	テキストに沿って学習を理解する。ノートをとる。 学習内容について、意見発表する。
【2学期】日本の世界遺産2 世界の世界遺産	小テストや検定問題に取り組み、合格への対策をする。
【3学期】世界遺産に関する発表準備、発表	関連する時事問題も取り扱う。

評価の観点

関心・意欲・態度	世界遺産は、歴史や自然環境だけでなく、文学や芸術、神話、建築、政治、観光などの多様性をもっている。そのことに関心をもち、興味を抱ける。
思考・判断・表現	世界遺産の多様な背景について、多角的に思考できるか。世界遺産がもつ課題を見だし、どのように解決できるか考えられるか。また、簡単な英語でも説明できる。
技能	学んだ内容を様々な資料を用いて発表、表現できる。
知識・理解	日本文化・歴史を再認識し、世界にも視野を広げられるか。また、世界遺産を保護するため世界平和・自然環境保護も必要であることを理解できる。

科目名	<b>世界史演習</b>	教科	地歴	単位数	4
教材	授業がよくわかる世界史(中部日本教育文化会)		教材費 (予定定価)	473円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	世界史についてさらに探求したい人、また大学入試で世界史を必要とする人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	既習事項が確認できる問題集を教材とし、大学入試に対応できる基礎力を身に付ける。また、大学入試二次試験に相当する発展問題にも取り組む。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義で世界史Bの内容を振り返りながら、ワークやプリントなどを使用しながら大学入試などの実践問題にも取り組む。
評価方法	評価については以下の各観点をもとにレポート、定期考査の結果、ノートの提出状況等を総合的に評価します。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
先史の世界 オリエントと地中海世界 アジア・アメリカの古代文明 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 イスラーム世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 アジア諸地域の繁栄 近世ヨーロッパ世界の形成と発展 近世ヨーロッパ世界の形成と発展 近代国民国家の発展 帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦 冷戦と戦後世界の変容	歴史の流れを示したワークを配布し、講義と演習問題を併用して、授業を進める。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	世界史へ強い関心を持ち、より深く学ぼうとする意欲や態度を高めている。
思考・判断・表現	世界史学習を深め、問題演習においても、その成果を発揮している。
技能	資料・史料を深く考察し、適切な方法で表現している。
知識・理解	世界史の基本的な知識をもとに、歴史考察をすることができている。

科目名	日本史演習	教科	地歴	単位数	4
教材	①高校日本史B ②流れでわかる年表日本史		教材費 (予定定価)	①830円 ②802円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	3
---	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	日本史についてさらに探求したい人、また大学入試で日本史を受験希望する人にとって必要な内容である。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	通常講義の他、入試対策問題集を教材とし、入試に対応できる基礎力を身に付ける。また、大学入試二次試験に相当する発展問題にも取り組む。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義やプリントで日本史B全般の内容を振り返る。また大学入試の実践問題に取り組むなど、自主的・意欲的に学習する。
評価方法	評価については以下の各観点をもとに、レポート、定期考査の結果、授業中の発言・メモの取り方などの積極的な授業態度を総合的に評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
近世 統一政権の成立 幕藩体制の成立 近代 大日本帝国の形成 大日本帝国の展開 15年戦争と日本・東アジア 現代 戦後改革と高度経済成長 現代の世界と日本 その他 通史として分野別の復習も行う	歴史の流れを図説したフローチャートのプリントを配布し、テーマ別に日本史の講義と演習問題を併用して授業を進める。  入試対策問題問題を教材として復習する。  過去に学習した分野でも、入試で出題頻度の高い分野や、文化史を中心とした分野にも取り組む。

評価の観点

関心・意欲・態度	我が国の歴史的形成過程に対する関心と課題意識を高め、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	我が国の歴史的形成過程を世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。
技能	図版・史料・地図・グラフ等の資料から有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追求する方法を身に付ける。
知識・理解	我が国の歴史的形成過程についての基本的な事項を理解するとともに、事象の因果関係・前後関係を正しく理解している。

科目名	<b>世界と文化</b>	教科	地歴公民	単位数	2
教材	①高等学校 新倫理 新訂版 ②自主プリント		教材費 (予定定価)	①465円 ②なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	世界の文化や哲学・宗教に興味をもっている人が対象となる。
選択のめやす	歴史に関心があること。特に文化に興味をもち、先哲の思想に興味があり、現在、自分の生き方を模索している人の履修が望ましい。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	自分を客観的に見つめ、自分の判断で責任をもって行動できる思考力を育成する。 論文の要点を理解し、文章に簡潔にまとめる力を育成する。 異文化理解を深め、自分と異なる意見にも理解を示し尊重する態度を育成する。 他人のものの見方を参考に自分の考え方を形成し、それを他人と話し合える能力を育てる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義・演習とディスカッション形式が中心の授業である。 資料集・プリントを活用し、レポートの作成の仕方を身に付ける。 作成したレポートの発表などの参加型学習も取り入れる。
評価方法	期末考査や活動の様子、提出物の状況などから総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
現代に生きる自己の課題	人間とは何か、青年期の課題について、プリントで学習する。
人生における哲学	ギリシャ思想(ソクラテス・プラトンの思想)について学習する。
人生における宗教	キリスト教、イスラーム教について学習する。
仏教(仏陀の生涯とその思想)	仏陀の思想、仏教のその後の展開について学習する。
日本の仏教(鎌倉仏教の内容について)	仏教の移入から土着化までを学習する。
イスラーム教(ムハンマドの生涯とその思想)	世界最大宗教イスラーム教について、異文化を理解する意義を話し合う。
日本文化と国学	古典美の再発見、国学について学習する。
西洋現代思想の受容	現代をいかに生きるかについて話し合う。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	様々な思想を学び、それに対する意見や感想をどのように表現した。また、自らの生き方に生かしていこうとする意欲や姿勢を有している。
思考・判断・表現	様々な思想を学び、その倫理と時代背景を考察することができた。また、自らの生き方について結びつけて表現することができる。
技能	様々な思想を自らの言葉で簡潔に説明することができた。また、哲学的専門用語を使って、的確に表現する技能を高めることができる。
知識・理解	思想や文化を歴史の中で、どのようにとらえ理解できる。

科目名	<b>現代社会</b>		教科	公民	単位数	2
教材	①高等学校 改訂版 新現代社会(第一学習社) ②テーマ別資料 クロスアップ現代社会2018(第一学習社)			教材費 (予定定価)	①630円 ②896円	

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	現代社会の基本的な問題についての理解を深めるとともに、人間としてのあり方・生き方について考えることを通して、良識ある公民としての必要な能力と態度を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・資料集・ノート・授業プリントを用いて、教科書に沿った内容をより具体的に展開していく。 8人単位の小グループを作り、ディスカッション形式で教え合うことで、学習への意欲を高め、課題発見につなげていく。
評価方法	定期考査、授業への取組の様子を総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
○キャリアデザイン科での学習について ・キャリアデザイン科とは ・社会人基礎力について	キャリアデザイン科での学びについて、社会人基礎力とは何かを理解し、社会人基礎力を身につけることが今の大きな課題であり、それがやがて自分の人生の糧となるようにすることを目標とする。
○現代社会と人間としてのあり方生き方 ・伝統や文化とのかかわり ・祭りと年中行事 ・社会とのかかわり	日本の伝統や文化と異文化との関係について考える。
○現代の民主政治と政治参加の意義 ・国会の運営と権限 ・内閣と行政の民主化 ・裁判所と人権保障 ・地方自治と住民の福祉 ・選挙制度と現状の課題	昔から行われている祭りや年中行事にはどのような者があるのかを理解し、それらが私たちの日常生活にどのような影響を与えているかを考える。 議会制民主主義とはどのようなものを理解し、国権の最高機関である国会は、どのような権限をもっているかを考える。
○現代の経済社会と私たちの生活 ・経済と私たちの生活 ・経済体制の変容 ・現代の企業 ・市場のしくみ ・国民所得と私たちの生活 ・景気変動と物価の動き ・財政のしくみと税金	地方自治の意味と地方自治の発展のための課題は何かを考える。住民はどのようにして地方自治に参加できるかを理解する。 経済とは何かについて、市場経済と計画経済の違いについて考える。 市場が果たしている役割と独占・寡占について学ぶ。市場の失敗とはどういうことかを理解し、この失敗を補うための政府の役割について考える。 財政活動の目的を学び、租税についての理解を深める。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	現代社会の基本的な問題に積極的に関心をもち、よりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付けようとしている。グループ討論において積極的に意見を述べている。
思考・判断・表現	社会の変化や様々な立場・考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。グループの意見を的確に集約し、自分の言葉で発表できる。
技能	資料集を十分に活用し、正確に読み取り、学習や発表に役立てることができる。
知識・理解	教科書に沿った内容についての理解できる。単なる語句の暗記だけでなく、事柄についての内容や問題点を文章で述べることができる。

科目名	政治経済	教科	公民	単位数	2
教材	政治・経済(東京書籍)		教材費 (予定定価)	465円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	政治・経済をはじめ広く国際社会も出来事に関心をもっている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	わが国の政治・経済および国際社会の動きに関する基本的な知識を身に付け、それに対する自分の考えを持った上で、社会にどのようにかかわり、貢献していくかを考える。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・資料集・ノート・授業プリントを用いて、教科書に沿った内容をより具体的に展開していく。また、ディスカッション形式を取り入れることで、学習への意欲を高め、課題発見につなげていく。
評価方法	以下の各観点に基づき、各学期の定期考査、レポートの内容、ノートの提出状況、発表内容などから総合的に判断します。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
I. 現代の政治 民主政治 日本国憲法 日本の政治制度 現代日本の政治 II. 現代の経済 現代経済のしくみ 日本経済の発展と国民福祉の向上 III. 現代社会の諸課題 現代日本の諸課題 国際社会の諸課題	教科書、資料集を通じて基礎的な知識を得る。 自らの意見の発表を行う。 与えられた課題に関する意見レポートを作成する。 自ら選んだテーマについて、レポートを作成する。

評価の観点

関心・意欲・態度	現代の社会と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究できる。
思考・判断・表現	現代の社会の課題を見だし、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、公正に判断できる。
技能	現代の社会と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	現代の社会的事象と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。



科目名	時事問題	教科	公民	単位数	2
教材	ニュース検定時事力 公式テキスト&問題集 3. 4級			教材費 (予定定価)	1,296円

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	ビジネスコミュニケーション
---	--------	------	---------	---------------

自由選択科目	選択する学年	3
--------	--------	---

選択の条件	現代社会の学習に興味があり、かつ、就職試験のための資格習得を真剣に考えている人。
選択のめやす	政治、経済をはじめ、広く国際社会の出来事に関心をもっていること。または、ニュース時事能力検定4級以上の取得に挑戦する意志を強くもつことが必要である。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	現代社会で起こっている様々な出来事について理解し、それらの事柄についての自分の考えをもつ力を身に付ける。さらには、これからの社会のあり方を考えるきっかけとする。ニュース時事能力検定4級以上の習得を目指す。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教材の2018年ニュース検定公式テキストに取り上げられたテーマを柱とし、関連性のある昨今のニュースや時事問題にふれ、現代社会の諸問題や良き社会の実現方法について考え、学ぶ。 テキストの練習問題に取り組み、重要用語や出来事を把握して理解する。
評価方法	学期ごとの定期考査、さらに授業ノートの提出状況、授業プリントの提出状況、活動の様子、発言内容等による積極的な授業参加態度等を総合的に評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
政治 ①憲法と政治の課題 ②「18歳選挙」と国会 ③日本と近隣の国々 ④地方自治のゆくえ ⑤主権者手引	テキストに取り上げられたテーマを柱とし、関連性を持つ現代社会の諸問題について考え、学ぶ。
経済 ①足踏みする日本経済 ②日本の産業と貿易 ③エネルギー問題のあす	学んだ内容について、自らの意見や感想をレポートに書き、発表する。
暮らし ①進む少子高齢化 ②曲がり角の社会保障 ③働く環境を考えよう。	練習問題や小テストに取り組み、時事問題の基本用語を理解し、知識を定着させる。
社会問題とあす ①大震災からの復興 ②差別のない社会へ ③裁判所の役割と国民	日常の新聞を読み、その出来事について、簡潔にまとめ、自分の意見や感想が言えるようにする。
社会問題と今 ①情報社会に生きる。 ②いのちを考える。 ③温暖化対策に新たな道	事件が起こった原因は何か。戦争の原因や傷はいかに残されるのかについて考える。
国際社会 ①揺れ動く世界 ②平和な世界は遠く。	ニュース時事能力検定4級、3級取得に挑戦する意欲を高くむ。
①2018年重大ニュース ②ニュースのことは	
練習問題 正解と解説	☆ニュース検定は、6月、11月、2月に実施する予定です。

評価の観点

関心・意欲・態度	現代社会で起こっている様々な出来事に興味・関心を持ち、その課題解決のためのあり方について考える姿勢をもっている。
思考・判断・表現	授業で取り上げた時事問題について、その事象や出来事を理解し、それに対して、いかに自らの意見を発表することができる。
技能	日常の新聞や雑誌の中から、時事問題となる教材を見つけ出し、それを簡潔にまとめて、いかに発表することができる。
知識・理解	学んだ内容を小テストや練習問題の形式で問い、それを整理して、いかに体系的に理解することができる。

科目名	<b>社会一般</b>	教科	公民	単位数	2
教材	改訂版 テスト式 就職社会			教材費 (予定定価)	536円

系列選択科目	<b>必修系列</b>	選択できる系列
--------	-------------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	専門学校や就職、または公務員を志望し、社会全般を広く学び、一般常識の知識を高めたいと思う人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	講義やプリントで社会問題を学習し、その問題点や課題を正確に捉え、身近な問題として考えることのできる力を付けていく。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	テキスト・プリントを使った講義形式で学習し、問題点や課題を捉え、その解決方法を探るために小グループによる討論形式の学習も取り入れる。 また、一般常識の実践問題にも取り組む。
評価方法	期末考査や活動の様子、提出物の状況、資料の活用状況などから総合的に判断する。

**学習計画**  
**(1年間の授業計画)**

学習内容	学習活動
政治・法律	憲法の特徴、民主主義のあり方、国際政治について学ぶ。
経済	財政・金融政策の基本を知り、戦後の経済成長の理由を学ぶ。
社会・労働	社会保障制度の歴史と現状、労働運動の歴史を学ぶ。
日本史・世界史	日本の文化史・政治史、世界の歴史的大事件・革命を学ぶ。
総合問題	一般常識の総合的な問題に取り組み実践力をつける。
時事用語・国際用語略語	ニュース・新聞等によく使われている用語・略語について学ぶ。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	現代の社会の様々な問題に対して関心があるか、その問題に対して意欲的に課題を追究している。
思考・判断・表現	広い視野に立って多面的・多角的に物事を考え、社会の変化や様々な立場・考え方を踏まえ公正に判断できている。
技能	テキスト・プリント等の資料を通して情報を収集し、その情報の正しい活用の仕方を身に付けている。
知識・理解	現代社会の様々な問題に関する基本的な事柄を理解できているか。

科目名	<b>数学 I</b>		教科	数学	単位数	3
教材	①新編 数学 I (数研出版) ②Study-upノート数学 I (数研出版)	教材費 (予定定価)	①1,260円 ②534円			

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	中学数学の発展内容が多い科目であるので、これまでの復習や基礎基本を重視し基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。「数と式」「2次関数」「図形と計量」「データの分析」において事象を数学的に考察する力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習し、プリントでの演習も適宜行う。学習した内容の演習時間を多くとり実践力を育成する。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動の様子・課題の提出状況・小テストの結果)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>【1学期】</b> <b>数と式</b> 整式の加法・減法・乗法、因数分解、実数、根号を含む式の計算、1次不等式、不等式の性質、1次不等式、絶対値を含む方程式、不等式 <b>【2学期】</b> <b>数と式(集合と命題)</b> 集合、命題と条件、命題とその逆・対偶・裏、命題と証明 <b>2次関数</b> 2次関数とグラフ、2次関数と値の変化、2次方程式と不等式 <b>【3学期】</b> <b>図形と形量(三角比)</b> 三角比、三角形への応用 <b>データの分析</b> データの整理、データの代表値、データの散らばりと四分位範囲、分散と標準偏差	数と式で必要な計算方法の習熟を中心に、計算の工夫などについての学習を行う。 集合と命題における考え方を理解し、逆・裏・対偶などについての表現の方法について学習を行う。 不等式の解法や関数で必要な計算法の習熟を中心に、不等式や関数の考え方についての学習を行う。 三角比で必要な計算方法の習熟を中心にした学習を行う。 データの分析における基本的な概念・法則などを学習する。

評価の観点

関心・意欲・態度	数と式・2次関数・図形の計量及びデータの分析の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
思考・判断・表現	数と式・2次関数・図形の計量及びデータの分析において、事象を数学的に考察したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることを通し、数学的な見方・考え方を身に付けている。
技能	数と式・2次関数・図形の計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
知識・理解	数と式・2次関数・図形の計量及びデータの分析における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。

科目名	<b>数学Ⅱ</b>		教科	数学	単位数	4
教材	①新編 数学Ⅱ (数研出版) ②Study Upノート数学Ⅱ (数研出版)			教材費 (予定定価)	①1,562円 ②745円	

○	系列選択科目	必修系列	自然科学と情報	選択できる系列	
---	--------	------	---------	---------	--

	自由選択科目	選択する学年	2
--	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	数学Ⅰの上級科目を学習したい人。数学Ⅱが入試等で必要な生徒。次年度数学Ⅲを履修したいと考えている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	必修科目(全員が受講する科目)の数学の授業と比較すると、進度はやや速く、難易度もやや高い。しかし、その状況を活用し、この科目の受講を通して課題発見能力・計画力・問題解決力等を高めてもらいたい。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に各単元の理解を進め、ワークでの演習を通して定着を深める。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動状況、課題の提出状況、小テストの結果)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 【式と証明】式と証明・等式・不等式の証明 【複素数と方程式】複素数と2次方程式の解・高次方程式 【図形と方程式】点と直線・円・軌跡と領域	教科書等で単元の理解を進める。各単元の終盤にスタディーアップノートを用いて演習をし、単元の内容を定着させる。「必修科目の数学の授業と比較すると、進度はやや速く、難易度もやや高い」この科目の学習を通して、課題発見能力・計画力・問題解決力等を高める。
2学期 【三角関数】三角関数・加法定理 【指数関数と対数関数】指数関数・対数関数	
3学期 【微分法と積分法】微分係数と導関数・関数の値の変化・積分法	

評価の観点

関心・意欲・態度	方程式の解法や三角関数の性質に関心をもっている。 指数と対数、微分と積分などの関わりに関心をもっている。
思考・判断・表現	関数のグラフを理論的に考察し、数学的に判断できる。
技能	方程式を解く技能、微積分の計算技能を身に付けている。 図形と数式との関係を理解し適切に表現できる。
知識・理解	微積分や平面図形の性質を理解し、推論する力を身に付けている。

科目名	<b>数学Ⅲ</b>		教科	数学	単位数	4
教材	①最新 数学Ⅲ(数研出版) ②Study-Up ノート数学Ⅲ(数研出版)			教材費 (予定定価)	①1,685円 ②895円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	2年次に数学Ⅱを履修している人。
選択のめやす	数学を専門的に学習したい人。理系大学の進学を考えている人など。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	数学Ⅲの学習内容である「複素数」「2次曲線」「関数」「極限」「微分・積分法」について、基本的な内容をしっかりと身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習し、学習した内容の演習時間を多くとり実践力を育成する。既習内容とのつながりを確認しながら、学習を進めていく。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動状況、課題の提出状況、小テストの結果)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>【1学期】</b> ・複素数平面 ・複素数の極形式 ・複素数と平面図形 ・2次曲線の平行移動 ・極座標と極方程式 ・無理関数 ・複素数の和と差 ・ド・モアブルの定理 ・放物線、楕円、双曲線 ・曲線の媒介変数表示 ・分数関数 ・逆関数と合成関数	複素数平面の性質を理解し計算問題、図形問題等を演習し理解を深める。 2次曲線の基本を理解し図示する。 媒介変数表示から方程式を導く。 分数関数、無理関数の性質を理解する。 極限の考えを数列に応用する。 極限の性質を利用し関数の極限を求める。 関数の極限の性質を用いて、様々な導関数を導く。 不定積分、定積分が計算できるようにする。
<b>【2学期】</b> ・逆関数と合成関数 ・極限の計算 ・無限級数 ・いろいろな関数の極限 ・不定積分とその基本性質 ・数列の極限 ・無限等比数列 ・関数の極限 ・さまざまな導関数	
<b>【3学期】</b> ・置換積分と部分積分法 ・定積分とその基本性質 ・定積分の置換積分法と部分積分法	

評価の観点

関心・意欲・態度	数列の極限、無限関数に興味をもっている。2次曲線やさまざまな関数に関心をもち、そのグラフについて意欲的に考察しようとする姿勢がみられる。
思考・判断・表現	様々な関数に関わる量を求めるために、微分法や積分法が応用できることを把握している。
技能	数列の極限、無限級数、関数の極限の計算技能を身に付けている。 様々な関数の微積分の計算を正確に行うことができる。
知識・理解	関数の極限、無限等比級数について基礎的な知識を身に付けている。 様々な関数を微積分する方法を理解している。

科目名	<b>数学A</b>		教科	数学	単位数	3
教材	①新編 数学A(数研出版) ②Study-Upノート数学A(数研出版)			教材費 (予定定価)	①1,082円 ②496円	

共通履修科目	選択する学年	2年
--------	--------	----

学習目標 (どのような力をつけるのか)	数学Aの学習内容の中から「場合の数と確率」「図形の性質」について学ぶ。これらを学習することにより、直感的に考察したり、論理的に考える力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書の内容を講義やグループでの活動を通して学習する。
評価方法	定期考査と授業への取り組み(活動状況、課題の提出状況、小テスト結果など)を総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>【1学期】</b> ・集合の要素の個数 ・場合の数 ・順列 ・組合せ <b>【2学期】</b> ・事象と確率 ・確率の基本性質 ・独立な試行と確率 ・条件付き確率 <b>【3学期】</b> ・三角形の辺の比 ・三角形の外心・内心・重心 ・チェバの定理・メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・円と直線 ・2つの円	すべての起こりうる場合は何通りあるか数え上げる方法を学ぶために正確にもれなく記述する。  結果が偶然に左右される事柄について調べて考察する。  言葉の意味する内容を明確に定め、議論を推し進める  平面図形に関する性質について学び、その性質を使い、論理的に考察する。

評価の観点

関心・意欲・態度	結果が偶然に左右される事象に関心がある。 平面図形に関心をもち、考察する意欲がある。
思考・判断・表現	物事が起こりうる期待度を数学的に判断できる。 物事を論理的に考察し判断できる。
技能	場合の数を正確に数え上げる技能がある。 物事を論理的に考える技能がある。
知識・理解	確率の意味、基本性質について理解できる。 平面図形の性質を理解し、推論する知識がある。

科目名	数学B		教科	数学	単位数	2
教材	①最新 数学B (数研出版) ②Study-upノート数学B(数研出版)			教材費 (予定定価)	①1,321円 ②575円	

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	自然科学と情報
---	--------	------	---------	---------

自由選択科目	選択する学年	3
--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	数学を専門的に学習したい人。理系大学への進学を考え、数学Bが大学入学試験に必要な人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	数学Bの学習内容の中から「ベクトル」「数列」について学ぶ。これらは、数学I、数学Aを履修した生徒を対象としたやや専門的な単元であり、それらを学習することにより、事象を数学的に考察する力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習し、プリントでの演習も適宜行う。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動の様子、課題の提出状況、小テストの結果、演習中の活動内容)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>【1学期】</b> ・平面上のベクトル ・ベクトルの意味・加法・減法・実数倍 ・ベクトルの成分、演算、内積 ・位置ベクトル	ベクトルの意味や基本性質、演算方法などについて学習する。 図形の問題をベクトルを利用して解く力を身に付ける。 空間におけるベクトルについて、平面上のベクトルと同じようにとらえる力を身に付ける。
<b>【2学期】</b> ・空間の座標 ・空間のベクトル、成分、演算、内積 ・数列 ・等差数列、等差数列の和 ・等比数列、等比数列の和	簡単な規則性を持つ数の並びの性質や、その和について学ぶ。 いろいろな数列の和について調べる。 隣り合う2つの項の関係から一般項を求める。
<b>【3学期】</b> ・和の記号、いろいろな数列の和 ・漸化式	

評価の観点

関心・意欲・態度	数列やベクトルに関心をもっている。 事象を数学的に捉える見方・考え方をもっている。
思考・判断・表現	数の列の規則性やベクトルの性質について考察できる。 結果に基づいて数学的に判断できる。
技能	計算力・考察力の技能を身に付けている。 自己の考えを的確に表現できる。
知識・理解	数列やベクトルについての数学的な理解ができる。 理解や表現に必要な専門的知識を身に付けている。

科目名	<b>基礎数学</b>	教科	数学	単位数	2
教材	随時プリントを配布		教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2年
------------------------------	--------	----

選択の条件	なし
選択のめやす	中学校までの算数・数学の既習内容について、理解をより深めたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	高校生が「一般常識力」として身に付けておく必要がある小中学校における数学の内容の理解を深化させる。論理的思考力や処理能力なども身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	「ふりかえり→演習→解説→理解・定着」のサイクルで中学校・高校1年までの既習事項の学習を行う。
評価方法	定期考査と授業への取り組み(活動状況, 課題の提出状況, 小テストの結果など)を総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数と式</li> <li>・ 1次方程式・連立方程式・2次方程式</li> <li>・ 図形・面積・体積</li> <li>・ 論理的思考力・処理能力を高める演習</li> </ul>	配布するプリント教材を用いて「ふりかえり→演習→解説→理解・定着」のサイクルで学習する。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	計算において、解法を理解しようとしている。 効率的な解法などに関心をもち、その理解・習得に意欲的である。
思考・判断・表現	解法の本質を見極めることができる。 どのような概念を使うか判断できる。
技能	計算・式を解く技能を身に付けている。 自分の思考を式や文章等で表現できる。
知識・理解	公式や定理を理解し、それを活用できる。 論理的に思考し表現する方法や手順を理解している。



科目名	<b>数学 I A基礎演習</b>	教科	数学	単位数	2
教材	専門学校受験 看護医療系の数学 I +A			教材費 (予定定価)	1,620円

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術・自然科学と情報
-----------------------	--------	------	---------	-----------------

<input type="checkbox"/>	自由選択科目	選択する学年	3
--------------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	看護専門学校の受験を希望している人、数学を意欲的に学びたい人など。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	看護学校入試の頻出問題を教材とし、基本事項の復習とともに、入試問題レベルの数学力をつけることを目的とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	分野・単元ごとに系統的に解説を行い、その演習を行うことで理解と定着を図るとともに実践力を付ける。
評価方法	定期考査と授業への取り組み(活動の様子、課題の提出状況、小テストの結果など)を総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・数と式</li> <li>・方程式・不等式</li> <li>・2次関数</li> <li>・割合</li> <li>・三角比</li> <li>・集合と論理</li> <li>・個数の処理</li> <li>・確率</li> <li>・平面図形</li> </ul>	看護学校入試頻出問題について分野・単元ごとに系統的に取り組むことにより、基礎・基本の理解・知識をより深化させ、実際の入試問題レベルの問題に対応できる力を、演習を通して身に付ける。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	積極的に授業に取り組み、問題解決に意欲的に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	公式や解答法をただ暗記するのではなく、解法への本質を見極めようとしている。
技能	授業ノートのとまとめ、整理がきちんとでき、問題解決に必要な計算力を身に付けている。
知識・理解	法則・公式・用語・記号などを理解し、基礎的な知識と応用力を身に付けている。

科目名	<b>数学総合演習</b>		教科	数学	単位数	2
教材	①数学Ⅰ・A 30分プレノート(数研出版) ② イニシャルノート(数研出版)			教材費 (予定定価)	①1,069円 ②486円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	センター試験を利用して大学受験を考えている人など。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	大学入試センター試験「数学Ⅰ・A」の受験に対応できるように、実践予想問題を通して教科書内容の理解とセンター試験において必要な力を育成する。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	数学Ⅰと数学Aの教科書を活用し実践予想問題で明らかになった弱点を振り返りながら大学入試センター試験に必要な力をつけるための演習をする。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動の状況、課題の提出の状況、小テストの結果)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>イニシャルノート</b> 数学Ⅰ 1～17  数学A 18～27  <b>プレノート</b> 第1, 3, 5, 7, 9回 第1問 [1] 方程式と不等式 [2] 論理と集合  第2問 図形と計量, 平面図形  第2, 4, 6, 8, 10回 第1問 2次関数  第2問 場合の数と確率	イニシャルノートで各単元の復習・重点事項を確認する。 プレノートを用いて実践演習を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	各問題の出題内容を教科書を用いて復習し、基本的な技術・知識を身に付けようとしている。
思考・判断・表現	マークシート方式の問題について、出題者の意図を読み取り、解答の流れにのる思考ができています。
技能	小テストや課題で示した問題をとおして基本事項を整理できています。
知識・理解	題意に沿った解答の方法や、図形の作図をし、どの定理を利用すればよいかの判断ができています。

科目名	<b>就職数学</b>	教科	数学	単位数	2
教材	実践テスト形式ベストステップ数学 I 改訂版		教材費 (予定定価)	473円	

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	ビジネスコミュニケーション
-----------------------	--------	------	---------	---------------

<input type="checkbox"/>	自由選択科目	選択する学年	3
--------------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	民間企業への就職を考え、就職試験における数学の対策をしたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	就職選考の筆記試験(一般常識)で頻出の問題を、既習事項を振り返りながら演習形式で学習する。年度後半には思考力や処理能力などを高める演習も行う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	まずはこの授業に「各自の目標・ねらい」をもち、それに向き合う。テキストは「基本→練習→演習→実践」とステップアップできる構成で、授業時の解説だけでなく解答冊子も活用し、「目標」に沿った学習を進める。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(課題提出状況・活動の様子・演習中の取り組む姿勢)などを総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
実数の計算・比と歩合 整式・乗法公式・因数分解 1次方程式・連立方程式・2次方程式・不等式・連立不等式・ 平面図形・面積・体積 論理的思考力・処理能力・問題発見能力等を高める演習	既習事項を振り返りながら頻出問題の演習を行う。 課題学習的題材で演習を行う。 電卓の効果的活用法を理解し、その演習を行う。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	計算において、解法を理解しようとする。 効率的な解法などに関心をもち、その理解・習得に意欲的である。
思考・判断・表現	解法の本質を見極めることができる。 どのような概念を使うか判断できる。
技能	計算・式を解く技能を身に付けている。 自分の思考を式や文章等で表現できる。
知識・理解	公式や定理を理解し、それを活用できる。 論理的に思考し表現する方法や手順を理解している。

科目名	<b>SPI数理分野演習</b>	教科	数学	単位数	2
教材	①公務員試験 初級スーパー過去問よく出る判断推理(実務教育出版) ②プリント教材		教材費 (予定定価)	①1,512円 ②なし	

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	ビジネスコミュニケーション
---	--------	------	---------	---------------

自由選択科目	選択する学年	3
--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	公務員志望の人, 就職選考のためにSPI形式の演習を行いたい人など。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	判断推理とは, 一口では表現できないほど多くの内容を含んでいる。論理・発言、対応・順序・位置、暗号・推論・手順などの公務員試験に出題される問題を解くことができる力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	これまでに学習していない解法等も必要となるため、基礎的な内容から学習し、問題演習を行う。
評価方法	定期考査, 授業への取り組み(活動の様子, 課題の提出状況, 小テストの結果)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
○SPI(非言語分野)の総合演習 ・暗号、集合、命題 ・文章で表された条件 ・数量で表された条件 ・方位と位置 ・平面図形 ・空間図形  ○公務員試験形式の適性検査	「SPI非言語分野」「暗号の解説」「集合と要素の数」 「命題の真偽」「対応関係」「順序関係」「発言の真偽」 「操作の方法」「経路と距離」「方位と相互の位置関係」 「立体の組み立て」「立体の回転と切断」 「適性検査問題」などについて、基礎的な解法を理解し、徐の演習に取り組む。

評価の観点

関心・意欲・態度	暗号, 集合, 命題, 条件, 平面図形, 空間図形の問題の解法や考え方に関心をもつとともに, 数学的思考のよさを認識し, それらを問題の解法の考察に活用しようとしている。
思考・判断・表現	問題の整理・図や表などを用いた表現及びそれらを多面的・統合的に見ることを通じて推論や考察をすることができる。
技能	規則性を見出し推測することや, 論理的に的確に推測し正しい結論を得ることができる。 場合の数の考え方などを通じて, 操作の問題を解くことができる。 平面図形や空間図形の動点や数え上げの問題を解くことができる。
知識・理解	集合に関する基本的な用語・記号を理解している。 命題の必要条件・十分条件, 逆・裏・対偶などを集合と関連付けて理解している。 場合の数の計算方法を理解している。 空間や平面図形についての基礎的な知識を身に付けている。

科目名	<b>数学 I A標準演習</b>	教科	数学	単位数	2
教材	基本と演習テーマ 数学 I +A(数研出版)			教材費 (予定定価)	982円

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	数学 I Aを用いて4年制大学へ進学を考えている人など。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	数学 I・A教科書の基本例題から章末の応用問題までを総復習し、記述式入試に対応できる基礎力を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	テーマに沿った基本例題を授業で展開するが、その理解を深めるためにも予習として事前に授業の復習をしておく必要がある。それを基盤として練習問題で内容を定着させる。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(学習への意欲、課題の提出、小テストの結果、活動状況)などを総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1. 数と式 ①展開、因数分解、実数、根号 ②不等式の性質、1次不等式、絶対値を含む方程式、不等式 ③集合、命題と条件、必要条件と十分条件、逆・対偶・裏 2. 2次関数 ①関数とグラフ、2次関数のグラフ ②2次方程式、2次不等式 3. 図形と計量 ①三角比、相互関係 正弦定理と余弦定理、面積 4. データの分析 ①整理、代表値、散らばり 分散と標準偏差、データの相関 5. 場合の数と確率	因数分解の基本の手順を理解する。 文章題を式として表現する。 必要条件と十分条件を理解する。 2次方程式・不等式を2次関数とx軸との関係を理解する。 正弦定理と余弦定理を使い三角形の要素を求める。 代表値、散らばり、標準偏差等を利用しデータを読み取る。 集合の概念を確率の概念に結びつけ、そのつながりを理解する。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	基本問題を予習し不十分な場合は教科書にもどって復習をし基本的な技術・知識を身に付けようとしている。
思考・判断・表現	テーマの例題を解くうえで数学 I・Aの知識をどのように応用しているか理解できている。
技能	小テストで練習しながらテーマの例題を解く技術をマスターしている。
知識・理解	ノート整理や課題の提出など勉強する上で必要な事柄がきちんとできている。

科目名	<b>数学課題研究</b>	教科	数学	単位数	2
教材	独自教材	教材費 (予定定価)		なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	数学の歴史や成り立ち、数学の難問などに興味がある人。 数学の課題研究をやりたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	「数学の歴史」「人間と数学との関わり」「人間の作った数理的な仕組み」「算学」「実生活と数学との関わり」などをテーマに、探求的課題研究を行い、数学の良さについて理解を深める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義形式やグループでの話し合いを通じて数学への理解を深めた上で、他者へ自分の研究を発表する。
評価方法	課題の提出状況、発表の内容、授業への取り組みを総合的に判断し、定期考査は行わない。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
研究テーマの例  『数学の歴史と人間の歴史』 ・数の表し方について ・測量について  『現代の社会生活と数学』 ・社会生活と数学について ・数学を活用した身近な現象について ・統計と暮らし  『日本における数学と生活』 ・日本における数学と社会との関わりについて	講義形式の授業を聞いて数学に関することについて深く考える。  グループでの話し合い活動を行う。  プレゼンテーションソフトを用いた発表を行い、生徒同士が互いに評価する。

評価の観点

関心・意欲・態度	数学の歴史や数学と実生活との関わりに興味・関心をもち、これらについて積極的に調べ学習を行ったり、実物に触れたりすることができる。
思考・判断・表現	数学の歴史や数学と実生活との関わりについて、その時代背景を考察したり、数学の良さについて考えたりして、それらをレポートにまとめて発表することができる。
技能	数の表し方や統計の計算ができるようになる。
知識・理解	数学の歴史や数学と実生活との関わりについて理解している。

科目名	<b>科学と人間生活</b>	教科	理科	単位数	2
教材	改訂 科学と人間生活(第一学習社)	教材費 (予定定価)		604円	

共通必修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について学びます。科学的な見方や考え方を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書の内容を理解し、問題演習を繰り返し行い、知識の定着を図ります。疑問に思ったことや興味のある内容は、自ら調べ、理解を深める。
評価方法	定期考査を実施。授業への取り組む姿勢・提出物の状況・小テストの結果・実験に取り組む姿勢・レポートなどから総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 <b>【物質の科学】</b> ・材料とその利用 ・衣料と食品  2学期 ・衣料と食品 <b>【熱や光の科学】</b> ・熱の性質とその利用 ・光の性質とその利用  3学期 <b>【地球や宇宙の科学】</b> ・身近な自然景観と自然災害 ・身近な天体と太陽系における地球	身近な例をもとに、科学技術が社会に与えた影響を理解する。身近な物質の種類、性質、用途について理解する。 小テストやDVD視聴をしてレポートを完成させ、理解を深める。  食品については、実験を通して、理解を深める。 熱とエネルギーの関係、光の性質と利用について理解する。  自然景観の成り立ちを学習し、自然災害に対する防災意識を身に付ける。また、天体と人間生活との関わり等を理解する。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	身近な物事・現象に関心や探求心をもち、意欲的にそれを探究するとともに、科学的に物事を捉える見方、考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	身近な物事・現象について、科学の知識が生活の種々の場面に必要である事を見出し、自分の考えを表現することができる。
技能	科学の現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究し、その結果や考察したことを表現することができる。
知識・理解	科学の現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>物理基礎</b>	教科	理科	単位数	2
教材	ニューサポート 新編 物理基礎		教材費 (予定定価)	588円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	計算力に自信があり、進路実現のために必要な人や物理現象に興味がある人。3年生で物理を履修しようと考えている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	身の回りの様々な物理的な事物・現象の背後にある基本法則を知り、物理的に現象を捉える力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	身近な現象から基本法則を考察し、計算問題で演習する。
評価方法	定期考査、授業への取組、提出物の状況、小テストの結果などをもとに評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>【直線運動の世界】</b> 速さ、速度、等速直線運動、等加速度直線運動、自由落下 <b>【力と運動の法則】</b> 力のつり合い、力の合成と分解、運動の法則 <b>【仕事とエネルギー】</b> 仕事、仕事率、位置エネルギー、力学的エネルギー	全体を通して、基礎的な事物・現象を理解する。 身近な物理現象に興味をもち、科学的に物事を捉えられるように心がける。 問題演習を行い、学習の定着をはかるとともに、実験や課題を通して、理解を深める。 実験を行い、その結果をグラフ等にまとめ、結果から基本法則を考察する。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	物理現象に関心をもち、主体的に学習しようとしている科学的に物事を捉える考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	自然現象を客観的に捉え、分析的に考察できる。事実に基づいて科学的に判断し、表現できる。
技能	実験・観察の技能を身に付けている。自己の考えを科学的な用語やグラフを用いて的確に表現できる。
知識・理解	自然の事柄について科学的に理解できている。理解や表現に必要な知識を身に付けている。



科目名	物理	教科	理科	単位数	4
教材	サンダイアル ステップアップノート物理(啓林館)		教材費 (予定定価)	825円	

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	自然科学と情報
---	--------	------	---------	---------

自由選択科目	選択する学年	3
--------	--------	---

選択の条件	物理基礎を履修した人。
選択のめやす	物理を入試科目として選択しようとする人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	身の回りの様々な物理的な事・現象の背後にある基本法則を知り、物理的に現象を捉える力を身に付けるとともに、物理現象に対する探究心を高める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	身近な現象から基本法則を考察し、問題集やプリントなどの計算問題で演習を繰り返す。
評価方法	評価については各学期における定期考査と日々の取り組み(活動の様子、提出物の状況、授業への取り組み方等)で評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
○さまざまな運動 平面上の運動・放物運動 力のモーメント 円運動・慣性力・万有引力 ○波 波の表し方・波の伝わり方 音の性質・ドップラー効果 光の伝わり方・光の回折と干渉 ○電気と磁気 電界と電位・電流・電流と磁界 ○原子 素粒子・放射線	全体を通して、基礎的な事・現象を理解し、問題演習を行って学習の定着を図る。 身近な物理現象に興味をもち、科学的に身の回りの事物をとらえることを心がける。 問題集や課題、実験やレポートを通して理解を深める。また、実験結果をグラフ等にまとめ、結果から基本法則を考察する。

評価の観点

関心・意欲・態度	物理や物理現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	物理や物理現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
技能	物理や物理現象に関する実験・観察などを行い、技能を習得するとともに、自己の考えを科学的な用語やグラフ、情報機器を用いて的確に表現でき、科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	物理や物理現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。

科目名	<b>化学基礎</b>	教科	理科	単位数	2
教材	ニューサポート 新編 改訂 化学基礎 (東京書籍)	教材費 (予定定価)	520円		

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	化学に興味関心をもち、学習意欲のある人。3年生で化学を履修しようと考えている人。入試科目に化学基礎が必要な人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	身の回りの化学的な事物・現象について、その基本的な原理・法則・物質の性質などを学び、理解を深める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	いろいろな物質の名前、化学式、反応式、反応に関する計算などを身に付ける。そのためには、日々の学習が必要である。また、化学に興味をもち、実験方法を理解し、実験結果から考察する。
評価方法	定期考査を実施。授業への取り組みの姿勢・提出物の状況・小テストの結果・実験への取り組む姿勢とレポートなどを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
・物質の成分と構成元素	元素についてや物質の三態について学習する。
・原子の構造と元素の周期表	原子について、その構造などを学習する。
・化学結合	イオン、分子、金属の結合について学習する。
・物質と化学反応式	化学反応式を作ったり、化学反応式から反応について考えたりします。また、計算・演習も行う。
・酸と塩基	酸の物質、塩基の物質について学習し、中和反応について、実験を通して学習していきます。計算・演習も行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	化学の現象に関心をもち、意欲的にそれを探究しようとする。 科学的に捉える見方・考え方をもっている。
思考・判断・表現	化学の成果が人間生活に果たしている役割を考察できる。 化学の知識が生活の種々の場面に必要である事を見出し、自分の考えを表現することができる。
技能	実験・観察の技能を身に付けている。 科学的に探究し、その結果や考察したことを表現することができる。
知識・理解	化学の現象についての基本的な概念や原理・法則を理解できる。 理解や表現に必要な知識を身に付けている。

科目名	<b>化学</b>	教科	理科	単位数	4
教材	ニューサポート 新編化学(東京書籍)	教材費 (予定定価)	717円		

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	化学基礎を履修した人。
選択のめやす	化学を入試科目として選択しようとする人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	化学的な事物・現象に関心を持ち、入試に対応出来る力を身に付ける。実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育成する。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書の内容を理解し、問題演習を繰り返し行い、知識の定着を図る。疑問に思ったことや興味のある内容は、自ら調べ、理解を深めていく。
評価方法	各学期における定期考査と日々の取り組み(活動の様子、提出物の状況、日頃の授業の取り組み方等)で評価します。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>【物質の状態】</b> 物質の状態と変化 溶液の性質、固体の構造 <b>【化学反応とエネルギー】</b> 化学反応と熱・光 電池と電気分解 <b>【化学反応の速さと平衡】</b> 化学反応の速さ 化学平衡、電解質水溶液の平衡 <b>【無機物質】</b> 非金属元素、典型金属元素、遷移元素 無機物質と人間生活 <b>【有機化合物】</b> 有機化合物の基礎 脂肪族化合物、芳香族化合物 有機物質と人間生活 <b>【高分子化合物】</b> 天然高分子化合物、合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活	物質について、構成粒子・反応・量的関係を学習します。  化学変化をエネルギーの出入りと関連付けて学習します。  酸化還元反応・平衡の基本的な概念や法則を日常生活と関連付けて学習します。  無機物質・有機化合物・高分子化合物の性質やその変化を日常生活と関連付けて学習します。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	化学の現象に関心や探求心を持ち、意欲的にそれを探究するとともに、科学的に物事を捉える見方、考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	化学の成果が人間生活に果たしている役割を考察し、化学の知識が生活の種々の場面に必要である事を見出し、自分の考えを表現することができる。
技能	化学の現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究し、その結果や考察したことを表現することができる。
知識・理解	化学の現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>生物基礎</b>	教科	理科	単位数	2
教材	啓林館 生物基礎 ワーク生物基礎	教材費 (予定定価)	535円		

共通履修科目	選択する学年	2
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	生物の多様性と共通性について、分子レベルから生態系レベルまで学ぶ。そして、ヒトとはどんな生物か、健康に暮らす知識を身につけ、自分自身の理解につなげる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	身の回りで起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考えていく。疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。学んだことを正確に記録する方法と態度を身に付けること。出された課題や宿題は確実にすること。
評価方法	定期考査、授業への取り組み、提出物の状況、小テストの結果などをもとに評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>【生物の特徴】</b>  生物の共通性、生命活動とエネルギー	共通性と多様性、光合成、呼吸、共生説、DNAについて学習する。
<b>【遺伝子】</b>  DNA、タンパク質合成	顕微鏡の基本的な使い方を学習する。
<b>【生物の体内環境の維持】</b>  血液、自律神経による調節、ホルモンによる調節、体内環境を守るしくみ。	ヒトの体や健康に関する内容、肝臓、腎臓などについて学習する。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	身のまわりの生物に関心をもっている。 自然を総合的に捉える見方・考え方をもっている。
思考・判断・表現	自然現象を客観的に捉え、分析的に考察できる。 事実に基づいて科学的に判断できる。
技能	実験・観察の技能を身に付けている。 自己の考えを的確に表現できる。
知識・理解	自然の事柄についての科学的な理解ができる。 理解や表現に必要な知識を身に付けている。

科目名	生物	教科	理科	単位数	4
教材	サンダイアル 生物の基本マスター（啓林館）		教材費 (予定定価)	913円	

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術・自然科学と情報
-----------------------	--------	------	---------	-----------------

<input type="checkbox"/>	自由選択科目	選択する学年	3
--------------------------	--------	--------	---

選択の条件	生物基礎を履修した人。
選択のめやす	生物を入試科目として選択しようとする人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理、法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性について考える。疑問に思ったことは自ら積極的に調べていく。
評価方法	定期考査、授業への取組、提出物の状況、小テストの結果などをもとに評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>【生命現象と物質】</b> 細胞と分子、代謝、遺伝情報の発現 生命現象と物質に関する探究活動、 <b>【生殖と発生】</b> 有性生殖、動物の発生、植物の発生 生殖と発生に関する探究活動 <b>【生物の環境応答】</b> 動物の反応と行動、植物の環境応答 生物の環境応答に関する探求 <b>【生態と環境】</b> 個体群と生物群集、生態系生物と環境に関する探究活動 <b>【生物の進化と系統】</b> 生物の進化の仕組み、生物の系統 生物の進化と系統に関する探究活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物を構成する元素や物質について理解する。</li> <li>・代謝とエネルギーの出入りについて科学的に学習する。</li> <li>・代謝には同化と異化があることを学習する。</li> <li>・減数分裂による遺伝子の分配と受精について学習する。</li> <li>・無性生殖と有性生殖の特徴を科学的に学習する。</li> <li>・視覚、聴覚が生じる仕組みを学習する。</li> <li>・光屈性や花芽形成の仕組みを学習する。</li> <li>・生態系の仕組みを理解すると共に、物質の循環やエネルギーの流れを学習する。</li> <li>・生物の進化とその仕組みについて学習する。</li> <li>・生物の分類法を理解すると共に特徴や形態の違いを学習する。</li> </ul>

評価の観点

関心・意欲・態度	生物や生物現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
技能	生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。

科目名	<b>身近な科学</b>		教科	理科	単位数	2
教材	自主教材			教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	2
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	理科に興味がある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	科学現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	日常生活の中で起こる様々な科学的な現象に興味をもち、その法則性について考える。疑問に思ったことは自ら積極的に調べる。
評価方法	授業への取り組み・レポートの内容・提出物の状況など日頃の授業への取組を基に評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
○タンポポの観察	・校舎内のタンポポの観察を行い、特徴を理解する。
○元素周期表	・原子・分子などの化学の基本知識を確認し、化学反応における物質の変化とその量的関係について理解する。
○身近な科学実験	・実験観察を通して科学の原理を学ぶ。 科学実験、細胞の大きさの測定・メダカの走性・色素の分離・植物細胞と浸透圧、ヒガンバナの観察・アルコールパッチテスト・表面張力等

**評価の観点**

関心・意欲・態度	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、その過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>物理探究</b>	教科	理科	単位数	2
教材	①2年の物理基礎で使用した問題集 ②自主教材		教材費	①なし ②なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	理系の大学・専門学校への進学を考えている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	基礎問題を中心に取り組み、入試に対応できる基礎力を身に付ける。また、センター試験への対策として入試過去問題にも取り組み、事象を論理的にとらえる力を育む。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	身の回りで起こるさまざまな物理現象から基本法則を考えていく。授業で取り組んだ内容は家庭で復習すること。また、教科書等を使って、自分で調べながら問題を解いてみる。
評価方法	以下の各観点における規準をもとに定期考査、課題の提出状況、小テスト、取り組む姿勢などから総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
物理基礎の内容 <b>【直線運動の世界】</b> 速さ、速度、等速直線運動、等加速度直線運動、自由落下 <b>【力と運動の法則】</b> 力のつり合い、力の合成と分解、運動の法則 <b>【仕事とエネルギー】</b> 仕事、仕事率、位置エネルギー、力学的エネルギー <b>【熱】</b> 熱と温度、熱と仕事 <b>【波】</b> 波の伝わり方、音の伝わり方 <b>【電気】</b> 電流と電気抵抗、電力と電力量 <b>【エネルギー】</b> エネルギーの変換と保存、エネルギーの利用	各範囲に関する基礎問題に組み込みながら、内容の復習を行う。 小テスト、課題により基礎力の定着をはかる。 実践力、あきらめずに挑戦する力を身に付けるため入試過去問題の類題や応用問題にも挑戦する。 実験を行い、その結果をグラフ等にまとめ、結果から基本法則を考察する。

評価の観点

関心・意欲・態度	物理の現象に関心をもち、意欲的にそれを探求するとともに、科学的に物事を捉える見方、考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	基礎問題や入試問題の取り組みを通し、物理の現象について科学的な思考力、判断力を身に付け、表現できる。
技能	物理公式を的確に応用することができ、実験・観察の技能を身に付けている。自己の考えを科学的な用語やグラフを用いて的確に表現できる。
知識・理解	物理についての基本的な概念や法則を理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>化学探究</b>	教科	理科	単位数	2
教材	①2年の化学基礎で使用した問題集 ②自主教材		教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし(2年次に化学基礎を受講していることが望ましい)
選択のめやす	理系の大学・専門学校への進学を考えている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	基礎問題を中心に取り組み、入試に対応できる基礎力を身に付ける。また、センター試験への対策として入試過去問題にも取り組み、事象を論理的にとらえる力を育む。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書の内容を理解し、グループワークを通じて知識の定着と化学的な思考力を身に付けます。授業で取り組んだ内容は家庭で復習すること。
評価方法	定期考査を実施。授業への取り組みの姿勢・提出物の状況・小テストの結果・実験に取り組む姿勢とレポートなどを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<1学期> 化学基礎の内容のつづき ・酸と塩基 ・酸化還元反応	酸の物質、塩基の物質について学習し、中和反応について、実験を通して学習していきます。計算も行う。 酸化と還元、また、反応する物質について学習する。
<2学期> ・酸化還元反応 ・化学基礎の復習	・各範囲に関する基礎問題に取り組みながら、内容の復習を行う。 ・小テスト、課題により基礎力の定着をはかる。 ・実践力、あきらめずに挑戦する力を身につけるため入試過去問題の類題や応用問題にも挑戦する。
<3学期> ・化学基礎の復習 ・身近な実験	・身近な実験を通して、科学的な見方、考え方を養う。

評価の観点

関心・意欲・態度	化学の現象に関心や探求心をもち、意欲的にそれを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	基礎問題や入試問題の取り組みを通し、化学の現象について科学的な思考力、判断力を身に付け、表現できる。
技能	化学の現象を捉えるための観察・実験の技能を身に付け、表現できる。
知識・理解	化学についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。



科目名	<b>生物探究</b>	教科	理科	単位数	2
教材	①2年の生物基礎で使用した問題集 ②自主教材		教材費 (予定定価)	①、②なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	理系の大学・専門学校への進学を考えている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	基礎問題を中心に取り組み、入試に対応できる基礎力を身につける。また、センター試験への対策として入試過去問題にも取り組み、事象を論理的にとらえる力を育む。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	身の回りのさまざまな自然現象から法則性を考えていく。授業で取り組んだ内容は家庭で復習すること。また、教科書等を使って、自分で調べながら問題を解いてみる。
評価方法	定期考査、授業への取り組み、提出物の状況、小テストの結果などをもとに評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
生物基礎の内容 ・生物の共通性 ・生物の共通性生命活動とエネルギー ・生物と遺伝子 ・遺伝子の均等配分 ・体内環境の維持 ・体内環境を保つ仕組み ・体内環境を守る仕組み ・植生の多様性 ・気候とバイオーム ・生態系とその保全	範囲に関する基礎問題に取り組みながら、内容の復習を行う。  小テスト、課題により基礎力の定着をはかる。  実践力、あきらめずに挑戦する力を身に付けるため入試過去問題の類題や応用問題にも挑戦する。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	生物の現象に関心をもち、意欲的にそれを探求するとともに、科学的に物事を捉える見方、考え方を身に付けている。
思考・判断・表現	基礎問題や入試問題の取り組みを通し、生物の現象について科学的な思考力、判断力を身に付け、表現できる。
技能	生物の現象を捉えるための観察・実験の技能を身に付け、表現できる。
知識・理解	生物についての基本的な概念や法則を理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>就職科学</b>	教科	理科	単位数	2
教材	自主教材	教材費 (予定定価)		なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	就職を真剣に考えている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	就職試験頻出の適正検査・一般常識の問題を教材とし、基本的な解答作成力の定着を図ることと、身の回りの物質と科学知識のつながりを理解することを目的とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	就職試験の問題演習を繰り返し行い、実験・観察・調べ学習・DVD視聴・課題レポートなどを通して、既習の科学知識を理解する。
評価方法	定期考査は実施しない。活動の様子、課題提出状況、日頃の授業の取り組み方で評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1 就職適性検査・SPI2の理的分野 の演習	1 就職試験に良く出題される濃度の計算、速さ、時間の計算などの問題演習を繰り返し行い、解答作成力を高める。
2 身の回りの商品から学ぶ化学	2 種々の商品を通して化学の理論を学ぶ。
3 物理・化学・生物実験・観察とその原理	3 実験や観察を通してその原理を学び、レポートを作成する。
4 科学の現象に関するDVD視聴	4 DVD視聴をして、レポートを作成する。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	科学の現象に関心や探究心をもち課題を自ら意欲的に取り組む。
思考・判断・表現	科学の知識が生活にどのように関わっているか考えて表現する。
技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、その過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知識・理解	科学の現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>体育(1年)</b>	教科	体育	単位数	3
教材	なし	教材費 (予定定価)		なし	

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	集団行動を通じて協調性を養い適切な判断・行動ができるようにする。 基礎体力を高め、基本技術・技能の向上を図る。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	グラウンド、体育館などの体育施設を活用し、多種多様なスポーツ実技を行い、学習到達目標を達成する。
評価方法	実技での評価と、授業に取り組む様子から総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
集団行動(きをつけ、休め、礼、右向け右、左向け左、回れ右、 1列から2列、2列から4列、4列から8列)  男子:球技(ソフトボール)、球技(バスケットボール) 女子:器械運動(マット)、球技(バレーボール)、 陸上(ハードル走)  体づくり運動(持久走・なわとび・前跳び・後ろ跳び・二重跳び・ 交差跳び等)	クラス全員での列の増減や方向変換の活動を通して、 集団行動の意義や重要性を学ぶ。  キャッチボールや守備練習など基礎技術を取得する。 ドリブルやパスなどの基礎技術を習得する。  前転や後転など基礎技術を取得する。 オーバーハンドパスやアンダーハンドパスなど基礎技術 を取得する。  ミニハードルなどを使用し、ハードル間のリズムを取 得し、50mハードル走のタイムの向上を図る。  体作り運動を通して、基礎体力を向上させる。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	種目の特性に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	自らの課題の克服や自分の能力に適した課題の解決にむけて練習方法を工夫できる。
技能	種目の特性に応じた技能を習得し、運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	種目の特性や学び方を理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>体育(2年)</b>	教科	体育	単位数	3
教材	なし	教材費 (予定定価)		なし	

共通履修科目	選択する学年	2
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	集団行動を通じて協調性を養い適切な判断・行動ができるようになる。 基礎体力を高め、基本技術・技能の向上を図る。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	グラウンド、体育館などの体育施設を活用し、多種多様のスポーツ実技を行い、学習到達目標を達成する。
評価方法	実技の評価と、授業に取り組む様子から総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
集団行動(きをつけ、休め、礼、右向け右、左向け左、回れ右、1列から2列、2列から3列、2列から4列、4列から6列、4列から8列。)  男子:陸上競技(走幅跳・走高跳) 球技(サッカー) 女子:陸上競技(リレー) 球技(バスケットボール)	クラス全員での列の増減や方向変換の活動を通して、集団行動の意義や重要性を理解する。  踏み切り前3～4歩からリズムアップし、跳躍する技術を習得し、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶ。  パスやドリブル、シュート、ゲーム等を行い、基礎技術を習得するとともに、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを理解する。  バトンパスの練習を行い基礎技術を習得するとともに、次走者のスピードが十分に高まったところでバトンの受け渡しができる技術を高める。  パスやドリブル、シュート、ゲーム等を行い、基礎技術を習得するとともに、空間を埋めるなどの連携した動きを理解する。
体づくり運動	体作り運動を通じて、基礎体力を向上させる。

評価の観点

関心・意欲・態度	種目の特性に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	チームの課題の克服や自分の能力に適した課題の解決にむけて練習方法を工夫できる。
技能	種目の特性に応じた技能を習得し、運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	種目の特性や学び方を理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>体育(3年)</b>	教科	体育	単位数	2単位
教材	なし	教材費 (予定定価)		なし	

共通履修科目	選択する学年	3
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	集団行動を通じて協調性を養い適切な判断・行動ができるようになる。 基礎体力を高め、基本技術・技能の向上を図る。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	グラウンド、体育館などの体育施設を活用し、多種多様なスポーツ実技を行い、学習到達目標を達成する。
評価方法	実技の評価と、授業に取り組む様子から総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
集団行動(きをつけ、休め、礼、右向け右、左向け左、回れ右、 1列から2列、2列から3列、2列から4列、4列から6列、4列から8列) 前期選択種目(バレーボール・バドミントン・卓球・ソフトボール・ソフトテニス・ダンス)	クラス全員での列の増減や方向変換の活動を通して、集団行動の意義や重要性を理解する。  前期種目から1種目選択し、自己や仲間の課題に合わせた練習方法を学ぶ。  自己や仲間の課題に合わせたルールを考える。
10月中旬まで: 前期選択種目(バレーボール・バドミントン・卓球・ソフトボール・ソフトテニス・ダンス)	後期: 等から1種目選択自己や仲間の課題に合わせた練習方法を学ぶ。
10月中旬から: 後期選択種目(バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトテニス・ダンス)	自己や仲間の課題に合わせたルールを考える。
後期選択種目(バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトテニス・ダンス)	後期: 等から1種目選択自己や仲間の課題に合わせた練習方法を学ぶ。  自己や仲間の課題に合わせたルールを考える。

評価の観点

関心・意欲・態度	種目の特性に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	チームの課題の克服や自分の能力に適した課題の解決にむけてルールを工夫したり練習方法を工夫したりできる。
技能	種目の特性に応じた技能を習得し、運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	種目の特性や学び方を理解し、知識を身に付けている。

科目名	ニュースポーツ		教科	体育	単位数	2
教材	なし			教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	生涯スポーツについて幅広く学習しようとする意欲のある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	生涯にわたって長くスポーツに携われる力を養うとともに、その方法や理念を指導することができるようになる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	アルティメット、ターゲットバードゴルフ、フットサルなどのニュースポーツを行うことや、自ら計画した授業を実践する。
評価方法	各種目の技能試験やレポート試験、授業への取組を総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
アルティメット	フリスビーの基本的な投げ方や取り方を学ぶ。  チームで作戦を考え、得点を奪うことや防ぐことを用紙に記入し、作戦が成功するようにチームの課題に合わせた練習方法を工夫する。
ターゲットバードゴルフ	ターゲットバードゴルフの基本的な打ち方を学ぶ。  自らがコースを作成し、攻略する方法を学ぶ。
フットサル	フットサルの基礎的な技術を学ぶために、班で練習方法を学び、実践する。  チームの課題に合わせたルールを工夫し、試合を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	種目の特性に関心を持ち、積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	ルールや練習方法を工夫し、自らやチームの課題の設定ができる。
技能	種目の特性や技能を習得し、運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	種目の特性やルールを理解し、知識を身に付けているか。

科目名	<b>球技スポーツ</b>	教科	体育	単位数	2
教材	なし	教材費 (予定定価)		なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	球技スポーツについて幅広く深く学習しようとする意欲のある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようになる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	バレーボール・バスケットボール・バドミントン・卓球・サッカー・ソフトボール・テニスなどの球技をより高度なレベルより戦略的に実践していく。
評価方法	各種目の技能試験・レポート等の筆記試験、活動の様子から総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
バスケット・サッカー(ゴール型)	基礎的な技術の習得 チームの課題に合わせた練習方法の作成と実施
ソフトボール(ベースボール型)	基礎的な技術の習得 チームの課題に合わせた練習方法の作成と実施
バドミントン・卓球(ネット型)	基礎的な技術の習得 チームの課題に合わせた練習方法の作成と実施

**評価の観点**

関心・意欲・態度	種目の特性に関心をもち、より高い専門性を学ぼうと積極的に取り組んでいる。
思考・判断・表現	チームの課題の克服や自分の能力に適した課題の解決に向けてルール工夫したり練習方法を工夫したりできる。
技能	種目の特性に応じた技能を習得し、運動の合理的な行い方を身に付けている。
知識・理解	種目の特性や学び方を理解し、より専門的な知識を身に付けている。

科目名	<b>保健</b>		教科	保健体育	単位数	1
教材	①大修館 現代高等保健体育 ②現代高等保健体育ノート		教材費 (予定定価)	①625円 ②885円		

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	様々な社会の変化に対して、自分自身がよりよく心身の健康を保つにはどうすれば良いのかについて追求し、学習する。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・保健ノートを中心に使用して進める。また、教科書のみでなく時事的な問題に対しても焦点をあて学習する。
評価方法	定期考査および活動の様子、提出物の状況などから総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第1章 現代社会と健康	
健康水準・健康問題	わが国の健康水準について理解する。
生活習慣病とその予防	生活習慣と健康の関係について理解する
食事と健康	食事が健康に及ぼす影響を理解する。
運動と健康	運動と健康の関係について理解する。
休養・睡眠と健康	休養・睡眠が健康に及ぼす影響を理解する。
喫煙と健康	喫煙の危険性と健康の関係について理解する。
飲酒と健康	飲酒の危険性と健康の関係について理解する。
薬物乱用と健康	薬物乱用の危険性と健康の関係について理解する。
感染症の予防・エイズとその予防	感染症やエイズについて理解する。
欲求と適応機制	心と大脳の関係について理解する。
心身相関とストレス・自己実現	心身相関とストレスについて理解する。
交通事故の現状	交通事故について理解する。
応急手当の意義と日常的な応急手当	応急手当の意義と方法を理解する。
心肺蘇生法	心肺蘇生法の意義と方法を理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、意欲的に学習している。
思考・判断・表現	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。
技能	個人生活や社会生活における各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。



科目名	<b>保健</b>	教科	保健体育	単位数	1
教材	①大修館 現代高等保健体育 ②現代高等保健体育ノート		教材費 (予定定価)	①、②ともに継続使用	

共通履修科目	選択する学年	2
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	様々な社会の変化に対して、自分自身がよりよく心身の健康を保つにはどうすれば良いのかというところを追求し、学習をする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・保健ノートを中心に使用して進める。また、教科書のみでなく時事的な問題に対しても焦点をあて学習する。
評価方法	定期考査および活動の様子、提出物の状況などから総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>第2章 生涯を通じる健康</b> 思春期と健康 性意識と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康 家族計画と人工妊娠中絶 加齢と健康 高齢者のための社会的取り組み 保健制度と医療サービスとその活用 医薬品と健康 様々な保健活動や対策	思春期の体と健康について理解する。 性意識と性行動について理解する。 結婚生活について考える。 妊娠・出産について理解する。 家族計画・人工妊娠中絶について理解する。 加齢と健康について理解する。 高齢者のための社会的取り組みについて理解する。 保健制度と医療サービスとその活用について理解する。 医薬品と健康について理解する。 様々な保健活動や対策について理解する。
<b>第3章 社会生活と健康</b> 大気汚染と健康 水質汚濁と健康 土壌汚染と健康 環境対策と健康 食品衛生活動と健康 働くことと健康	環境問題と健康について理解する。 食品の安全について理解する。 労働災害や職業病について理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、意欲的に学習している。
思考・判断・表現	個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。
技能	個人生活や社会生活における各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>音楽 I</b>	教科	芸術	単位数	2
教材	MOUSA 1 (教育芸術社)	教材費 (予定定価)	470円		

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

自由選択科目	選択する学年	1
--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	歌唱や楽器演奏を通して表現活動することに喜びを感じ他者と協力をしながら音楽を作り上げることにやりがいを感じ、毎時間、自らの目標や課題を定めて意欲的に取り組める。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽の基礎となる楽典の理解力を高める。主体的に活動する力、グループで目標に向けて協力する力、課題達成に向けての計画力を養うことを目標とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と係わらせてイメージをもって歌う。グループで発表に向けてどのような工夫が必要かを考え、より良い発表に仕上げる。歴史的背景や表現の特徴について理解を深め鑑賞し自分なりの考えをまとめる。
評価方法	歌唱や楽器演奏、鑑賞に関して日々の授業での取り組む様子や態度、またプリント類の提出を通して4観点を基に総合的に判断する。また実技試験においては、歌唱や楽器等の技能を向上し主体的に発表できているかを評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 歌唱 「校歌」 イタリア歌曲「Caro mio ben」 表現 ボディパーカッション「プリマス ロック」 鑑賞 バレエ音楽「ボレロ」	イタリア語の発音に慣れ、歌詞の意味を味わいながら歌う。 リズム打ちを通して、体でリズムを取りながら表現し、グループで協力してパフォーマンスを行う。
2学期 器楽 ギター ・タブ譜 ・ダイアグラム ・弾き歌い 鑑賞 「アランブラ宮殿の思い出」 組曲「動物の謝肉祭」	基本的なギターの奏法を身につける。 鑑賞を通じて、楽曲の魅力について話し合う。
3学期 歌唱 ミュージカル「美女と野獣」 鑑賞 舞台芸術	身近な舞台芸術であるミュージカルに触れ、楽曲の美しさや物語の内容を知り味わう。

評価の観点

関心・意欲・態度	学習内容に意欲をもち、意欲的・主体的に実技に取り組んでいる。
思考・判断・表現	豊かな感性で音楽の良さや美しさを感じ取り、音楽表現の工夫をしている。
技能	楽曲のイメージを表現するために必要な発声法や演奏法の実技を身に付けている。
知識・理解	楽曲の曲想を理解して鑑賞し、その良さや美しさを楽しんでいる。楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家および演奏者による表現の特徴を理解している。

科目名	<b>美術 I</b>	教科	芸術	単位数	2
教材	①光村図書 美術 I	教材費 (予定定価)	①1,045円 別途教材費:3,000円		

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術
-----------------------	--------	------	---------	---------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	2
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	
選択のめやす	美術全般(絵画、立体表現など)に関心があり、美術作品を制作することに喜びを感じ、自らの制作能力を高めたい人、作品が完成するまで静かに落ち着いて、粘り強く制作できる、向上心のある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	課題制作、作品鑑賞、発表・ディスカッションを通じての学習。
評価方法	授業で制作する作品の評価(色合いや質感の表現、描き込み具合など)。 授業への取り組みの評価(活動の様子、制作や説明を聞く姿勢、指摘された箇所を改善しているか、用具の準備や後片付けの様子など)。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
○鉛筆表現 立体表現 グラデーション 模写 ○絵の具表現 混色基礎と色相環  ○遠近法 遠近法を使った表現  ○立体 彫塑など	様々な画材を使いこなす基礎的な技法、知識を習得し、基本的な表現能力を身に付ける。  身に付けた基本的表現能力を伸ばすため、さらに高度な技術の習得を目指し、種々の作品を鑑賞し、新しい気づきや表現方法を学び、創造的な作品作りを目指します。

評価の観点

関心・意欲・態度	様々な表現方法に関心を持ち、道具や作品を大切に扱おうとしているか。 意欲的に取り組み、基本的な知識、制作技法や道具の取り扱い方を身に付けようとしている。
思考・判断・表現	作品に向き合い、自分らしさを追求し、工夫して表現している。 自他の作品を大切に扱う心と、表現者としての誇りが作品に現れている。
技能	落ち着いて制作に取り組み、技法を身に付け、丁寧な作業と観察が、作品に反映されている。
知識・理解	古典および自分や他の人の作品を鑑賞し、その表現方法について理解しようとしている。

科目名	<b>書道 I</b>	教科	芸術	単位数	2
教材	①「書 I」(光村図書)・「高等書範」(奈良県高等学校書道教育研究会)		教材費 (予定定価)	①490円 用具用材費:4,500円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

自由選択科目	選択する学年	1
--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	書に興味があり、書写能力を向上させたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	個性豊かな表現(書く)と鑑賞(観る)の能力を伸ばす。 書の伝統と文化について理解を深める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	中国・日本の古典や古筆を鑑賞し、臨書する。 現代の作品を参考に、個性を生かした作品作りをする。
評価方法	日々の授業の中で、作品の制作過程および作品を4観点を基に評価する。 作品制作へ取り組む姿勢や態度、自己の理想の作品を制作するための向上心をもって取り組んでいるかどうかを机間支援や作品を通じて総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
楷書	楷書・行書の特徴や用筆、運筆、字形の取り方を学習する。
行書	
仮名	仮名の成立、平仮名や片仮名について学習する。
漢字仮名交じり	漢字と仮名を調和させ、自分で選んだ言葉を作品にする。
硬筆	ボールペンで書く練習をする。
生活の中の書	はがきの宛名や年賀状の基本的な書き方を学習する。
高等書範を用いた作品制作	高等書範の課題を制作し出品する。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	各古典の臨書・鑑賞を通して書之美とその表現技法に関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。
思考・判断・表現	各古典の臨書・鑑賞を通して書之美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。
技能	書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け、表現している。
知識・理解	鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書の良さや美しさを感じ取っている。

科目名	<b>音楽Ⅱ</b>	教科	芸術	単位数	2
教材	高校生の音楽2(教育芸術社)	教材費 (予定定価)	1,000円		

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術
-----------------------	--------	------	---------	---------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	2
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	音楽Ⅰを履修していること。
選択のめやす	音楽に興味があり、継続して学びたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。音楽の基礎となる楽典の理解力を高める。主体的に活動する力、グループで目標に向けて協力する力、課題達成に向けての計画力を養うことを目標とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と係わらせてイメージをもって歌う。グループで発表に向けてどのような工夫が必要かを考え、より良い発表に仕上げる。歴史的背景や表現の特徴について理解を深め鑑賞し自分なりの考えをまとめる。
評価方法	歌唱や器楽演奏、鑑賞に関して日々の授業に取り組む様子、またプリント類の提出を通して4観点を基に総合的に判断する。また実技試験においては、歌唱や器楽等の技能を向上させ主体的に発表できているかを評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 歌唱「見上げてごらん夜の星を」(2部合唱) [糸]等 リズムアンサンブル「クラッピング カルテット」	歌詞の内容を味わいながらハーモニーの美しさを感じて歌う。  音色の組み合わせを工夫し、グループで協力して観客を魅了するパフォーマンスを目指す。
2学期 歌唱・ギター「スタンド バイ ミー」	循環コード、ベースラインのパターン、メロディーの展開などを理解してそれぞれのパートをよく聞き合い合奏する。
3学期 歌唱「からたちの花」  鑑賞「ウエストサイド物語」	歌詞の意味を理解して歌う。日本歌曲の音量バランスを考え美しい響きを追求する。  身近な舞台芸術ミュージカルに触れ、楽曲の美しさや物語の内容を知り味わう。

評価の観点

関心・意欲・態度	イメージをもって歌ったり鑑賞したりする。学習に主体的に取り組もうとし、実践的な態度で取り組んでいる。
思考・判断・表現	音楽を形作っている要素とそれらの働きを理解すると共に、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせてどのように歌うか表現に意図をもっている。
技能	楽曲のイメージを表現するために必要な発声法や演奏法を考え工夫している。
知識・理解	楽曲の曲想を理解して鑑賞し、その良さや美しさを味わっている。楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家および演奏者による表現の特徴を理解している。

科目名	<b>美術Ⅱ</b>	教科	美術	単位数	2
教材	①光村図書 美術Ⅱ		教材費 (予定定価)	①830円 別途教材費:3,000円	

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術
-----------------------	--------	------	---------	---------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	2
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	美術Ⅰを履修していること。
選択のめやす	美術に興味、関心があり、作品をより良くする為の努力ができる人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	課題制作、作品鑑賞、発表・ディスカッションを通じた学習。
評価方法	授業で制作する作品の評価(色合いや質感の表現、描き込み具合など)。 授業への取り組みの評価(活動状況、制作や説明を聞く姿勢、指摘された箇所を改善しているか、用具の準備や後片付けの様子など)。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
○絵画表現 デッサン 自画像	・対象物をじっくりと観察し、物体の特徴を捉える力、観察力を養う。
○立体 粘土造形	・粘土による立体造形を行い、粘土に親しむとともに立体ならではの造形表現について学ぶ。
○デザイン 生活の中のデザイン	・身近にある生活用品のデザインについて考え、制作し発表する。
○鑑賞 映像鑑賞 アニメーション 作品鑑賞	・アニメーション映像を鑑賞し、作品について感想や意見を個人で発表する。

評価の観点

関心・意欲・態度	説明を聞き理解しようとしている。また、用具を大切に扱い、準備・片付けができていないか、忘れ物等をしない等、授業の決まりを守っている。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせながら対象や物事を深く見つめ、良いアイデアが出せる。完成を想像しながら発想を練ることができる。
技能	表現の技能を身に付け、表現意図に合う表現方法を工夫しながら創造的に制作できる。
知識・理解	自他の作品の良さを味わうことができた。また、自然、美術作品、生活の中の造形、文化遺産の良さや美しさを感じ取り、理解や見方を深めることができる。

科目名	<b>書道Ⅱ</b>	教科	芸術	単位数	2
教材	①「書Ⅱ」(光村図書)・「高等書範」(奈良県高等学校書道教育研究会)		教材費 (予定定価)	①410円 用具用材費:3,000円	

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術
-----------------------	--------	------	---------	---------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	2
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	書道Ⅰを履修していること。
選択のめやす	書に興味があり、継続して学びたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	個性豊かな表現(書く)と鑑賞(観る)の能力を伸ばす。 書の伝統と文化について理解を深める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	中国・日本の古典や古筆を鑑賞し、臨書する。 現代の作品を参考に、個性を生かした作品作りをする。
評価方法	日々の授業の中で、作品の制作過程および作品を4観点を基に評価する。 作品制作へ取り組む姿勢や態度、自己の理想の作品を制作するための向上心をもってとりにくんでいるかどうかを机間支援や作品を通じて総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
楷書	日中の古典を手本とし、隷書・草書の基礎を学習する。
隷書	楷書・行書・仮名の発展的な学習をする。
行書	自分の選んだ漢字仮名交じりの言葉を書く。
草書	高等書範の課題を制作し出品する。
仮名	
漢字仮名交じり	
高等書範を用いた作品制作	

評価の観点

関心・意欲・態度	各古典の臨書・鑑賞を通して書之美とその表現技法に関心をもち、積極的に表現技法を高めようとしている。
思考・判断・表現	各古典の臨書・鑑賞を通して書之美とその表現技法を学び、普遍性のある表現を工夫している。
技能	書の基礎・基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身に付け、表現している。
知識・理解	鑑賞と表現は相互に関連していることを理解し、書の良さや美しさを感じ取っている。

科目名	<b>音楽Ⅲ</b>	教科	芸術	単位数	2
教材	音楽Ⅲ(教育出版)	教材費 (予定定価)	1,000円		

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術
-----------------------	--------	------	---------	---------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	3
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	音楽Ⅱを履修していること。
選択のめやす	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好したい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 主体的に活動する力、グループで目標に向けて協力する力、課題達成に向けての計画力を養うことを目標とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と係わらせてイメージをもって歌う。グループで発表に向けてどのような工夫が必要かを考え、より良い発表に仕上げる。歴史的背景や表現の特徴について理解を深め鑑賞し自分なりの考えをまとめる。
評価方法	歌唱や器楽演奏、鑑賞に関して日々の授業での取り組む様子や態度、またプリント類の提出を通して4観点を基に総合的に判断する。また実技試験においては、歌唱や器楽等の技能を向上し主体的に発表できているかを評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 「卒業写真」2部合唱 「平城山」(斉唱)等 アンサンブル演奏「イエスタデイ」	歌詞の内容を味わいながらハーモニーの美しさを感じて歌う。 歌詞の意味を理解する。日本歌曲の音量バランスを考え美しい響きを追求する。 キーボードを中心に、階名の読み方を理解し、グループでの発表に向けて取り組む。
2学期 歌唱「ヘイジュート」 幼児音楽の弾き語りキーボード「ぞうさん」「思い出のアルバム」等	英語の歌詞で歌い、フレーズを感じながら歌う。 それぞれの楽曲の良さを踏まえ、教える対象者の年齢とねらいを設定する。弾き語りの演奏を発表し合う。 速度や調性、拍子などのリズム、旋律等の音楽を形作っている要素に基づき楽曲を分析する。
3学期 オペラ鑑賞「トゥーランドット」	プッチーニの作品であるオペラ「トゥーランドット」を題材に総合音楽とはどのようなものかを学ぶ。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	楽曲の表現内容に関心を持ち、表現意図をもって創造的に演奏や歌唱に主体的に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	音楽を形づくっている要素とそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などを甘受しながら、表現意図をもっている。
技能	表現意図をもって音楽表現をするために必要な発声、呼吸法などを身に付け、創造的に表している。
知識・理解	総合芸術としてのオペラとほかの芸術や文化とのかかわりを理解し、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。



科目名	<b>美術Ⅲ</b>	教科	美術	単位数	2
教材	①光村図書 美術Ⅲ		教材費 (予定定価)	①620円 別途教材費:3,000円	

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術
-----------------------	--------	------	---------	---------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	3
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	美術Ⅱを履修していること。
選択のめやす	美術の知識をより深く身につけ、継続して学びたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	課題制作、鑑賞、発表・ディスカッションを通じての学習。
評価方法	授業で制作する作品の評価(色合いや質感の表現、描き込み具合など)。 授業への取り組みの評価(出席、制作や説明を聞く姿勢、指摘された箇所を改善しているか、用具の準備や後片けの様子など)。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
○絵画表現 アクリル画	・アクリル絵の具を用いて独創的な表現を探求する。
○立体 塔の制作	・可塑性の高いスタイロフォーム等を用いてオリジナリティー溢れる、塔を制作する。
○鑑賞 作品鑑賞 映像鑑賞	・完成した作品や映像作品の感想や工夫点について意見交換をし、発表する。

評価の観点

関心・意欲・態度	説明を聞く姿勢が良く、授業での準備・片付け、忘れ物等をせずに授業の決まりを守っている。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせながら対象や物事を深く見つめ、良いアイデアが出せた。完成を想像しながら発想を練ることができる。
技能	表現の技能を身につけ、表現意図に合う表現方法を工夫しながら創造的に制作できる。
知識・理解	自他の作品の良さを味わうことができた。また、自然、美術作品、生活の中の造形、文化遺産の良さや美しさを感じ取り、理解や見方を深めることができる。

科目名	<b>書道Ⅲ</b>	教科	芸術	単位数	2
教材	①「書Ⅲ」(光村図書)・「高等書範」(奈良県高等学校書道教育研究会)		教材費 (予定定価)	①395円 用具用材費:3,000円	

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術
-----------------------	--------	------	---------	---------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	3
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	書道Ⅱを履修していること。
選択のめやす	書に興味があり、継続してさらに深く学びたい人
学習目標 (どのような力をつけるのか)	個性豊かな表現(書く)と鑑賞(観る)の能力を伸ばす。 感性を磨き、生涯にわたって書を愛好する心情を育てる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	中国・日本の古典や古筆を鑑賞し、臨書する。 大きな作品や個性を生かした作品を作る。
評価方法	日々の授業の中で、作品の制作過程および作品を4観点を基に評価する。 作品制作へ取り組む姿勢や態度、自己の理想の作品を制作するための向上心をもってとりにくんでいるかどうかを机間支援や作品を通じて総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
楷書 行書 草書 仮名 創作①(半切・全紙・聯落) 創作②(漢字仮名交じり)	楷書、行書、草書、仮名の発展的な学習・創作をする。 自分の選んだ漢字仮名交じりの言葉で創作する。 半切以上の大きさの画仙紙を用い、作品制作をする。

評価の観点

関心・意欲・態度	中国及び日本の行書の文字と書の伝統と文化について関心をもち、その良さや美しさを感じ取ろうとしている。
思考・判断・表現	古典の比較を通して、書の構築的な構造を理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。
技能	書之美と書風の違いを理解し、その表現技法を身に付け、表現している。
知識・理解	書の伝統と文化について幅広く理解し、様々な書風之美や良さを感じ取っている。

科目名	<b>幼児教育音楽A</b>	教科	芸術	単位数	2
教材	①幼児のための音楽教育(教育芸術社) ②週に一度のおんがくワーク(ドレミ楽譜出版社)		教材費 (予定定価)	①1,500円 ②864円	

○	系列選択科目	必修系列	子どもと暮らし	選択できる系列	
---	--------	------	---------	---------	--

自由選択科目	選択する学年	2
--------	--------	---

選択の条件	幼児教育を進路として目指す人。「子どもの発達と保育」を選択する人。
選択のめやす	将来的に入試や資格取得でピアノ演奏を必要とする人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	幼児教育の実践の中で必要となる音楽的な基礎知識、および基本的なピアノ演奏技能を養う。 幼児期における情操教育の大切さを認識させ、日常生活の中に根付く音楽活動を、生涯とおして行うことのできる力を高める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	ピアノ演奏や弾き歌い等の実践的な学習、および理論的な基礎について学ぶ。 また、人前で歌うこと、演奏することに慣れるための演習をする。
評価方法	童謡を歌うことやピアノ演奏に取り組む様子や態度、またプリント類の取り組みや提出を通して4観点を基に総合的に判断する。また実技試験においては、技能を向上し、主体的に発表できているかを評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 4月～7月の掲載曲を歌う  楽典を学ぶ  ピアノ演奏	掲載曲の中から毎時間1～2曲を歌い、歌を覚え、歌うことに慣れる。  楽譜のルールを学び、覚える。  童謡のメロディーを、まず片手ずつ弾けるようにし、さらに両手でも弾けるようにする。
2学期 9月～12月の記載曲を歌う  ピアノ演奏  弾き歌い	毎時間1～2曲を歌う。  コードネームを学び、ピアノにおける伴奏の基礎を、その実践を通して練習する。  教科書の中から1曲、コードを付けて弾き歌いができるようにする。
3学期 1月～3月の記載曲を歌う  ピアノ演奏	毎時間1～2曲を歌う。  キーボードの機能を使い、合奏する。

評価の観点

関心・意欲・態度	実技練習に積極的に取り組み、さらに高いグレードを目指して努力している。
思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の良さや美しさを感じ取っている。表現に対する自己のイメージをもっている。
技能	基本的なコードを覚え、その曲に合った伴奏が付けられる。また、伴奏に乗って表現豊かに弾き歌いができる。
知識・理解	読譜力や表現力をつけるために、楽典を学んで理解し、理論的な知識を身に付ける。

科目名	<b>幼児教育音楽B</b>	教科	芸術	単位数	2
教材	①幼児のための音楽教育(教育芸術社) ②週に一度のおんがくワーク 下巻(ドレミ楽譜出版社)		教材費 (予定定価)	①1,500円 ②864円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列	子どもと暮らし
--------	------	---------	---------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	3
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	幼児教育音楽Aを履修している人。
選択のめやす	将来的に入試や資格所得に、ピアノ演奏を必要とする人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	幼児教育の実践の中で必要となる音楽的な基礎知識、および基本的なピアノ演奏技能を養う。 幼児期における情操教育の大切さを認識させ、日常生活の中に根付く音楽活動を、生涯とおして行うことのできる力を高める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	ピアノ演奏や弾き歌い等の実践的な学習、および理論的な基礎について学ぶ。 また、人前で歌うこと、演奏することに慣れるための訓練をする。
評価方法	童謡を歌うことやピアノ演奏に取り組む様子、またプリント類の取り組みや提出を通して4観点を基に総合的に判断する。また実技試験においては、技能を向上し主体的に発表できているかを評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 春・夏に関連する曲を歌う  楽典を学ぶ  ピアノ演奏	掲載曲の中から毎時間1～2曲を歌い、歌を覚え、歌うことに慣れる。  さまざまな記号を学び、覚える。  童謡のメロディーに適切なコードを付けて弾き、さらに伴奏の形を変化させて弾けるようにする。
2学期 夏・秋に関連する曲を歌う  ピアノ演奏  弾き歌い  グループで、合奏アンサンブルを演奏する。	毎時間1～2曲を歌う。  より多くのコードを学び、今まで練習した曲を移調して弾けるようにする。 教科書の中から1曲、楽譜通りに弾きながら歌えるようにする。 教科書の曲を幼児が合奏できるようにアレンジして演奏する。
3学期 冬に関連する曲を歌う  ピアノ演奏	毎時間1～2曲を歌う。  2学期に選んで練習した曲を発表する。

評価の観点

関心・意欲・態度	実技練習に積極的に取り組み、さらに高いグレードを目指して努力している。
思考・判断・表現	感性を働かせて、音楽の良さや美しさを感じ取っている。表現に対する自己のイメージをもっている。
技能	より多くのコードを覚え、その曲に合った伴奏を付けて表現豊かに歌う。 また、移調することができる。
知識・理解	読譜力や表現力をつけるために、楽典を学んで理解し、理論的な知識を身に付ける。

科目名	<b>デッサン</b>	教科	美術	単位数	2
教材	①基礎から身につくはじめてのデッサン(西東社)	教材費 (予定定価)	①1,836円 別途教材費3,500円		

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	進学、就職の際にデッサンの能力が必要とされる人。
選択のめやす	美術系進路を希望し、描写技術の向上を望む人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	1年間を通して、デッサンによる画力向上を図るとともに、デッサンに必要な集中力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	描写対象物のセッティング、画材の準備をし、課題制作をする。
評価方法	授業で制作する作品の評価(色合いや質感の表現、描き込み具合など)。 授業への取り組みの評価(活動の様子、制作や説明を聞く姿勢、指摘された箇所を改善しているか、用具の準備や後片付けの様子など)。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
○デッサンの知識 ・比率の取り方 ・形状理解 ・陰影の付け方	・対象物をじっくりと観察し、物体の特徴を捉える力、観察力を養う。  ・幅広い対象物描写する力をつける事を目指し、技術の向上を目指す。  ・実際の受験問題に取り組み、対応できるよう演習する。
○デッサンの種類 ・静物デッサン ・石膏デッサン ・人物デッサン	・作品を講評し、良い点、反省点を理解するとともに次の制作に活かす。
○鑑賞 ・制作作品講評	

評価の観点

関心・意欲・態度	集中して、意欲的に制作に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせながら対象物を観察し、形状理解への考察ができる。
技能	画材や紙の特性を理解し、表現に活かされている。
知識・理解	自他の作品の良さを味わうことができる。 作品の良さや美しさを感じ取り、理解や見方を深めることができる。

科目名	<b>工芸的な書</b>		教科	総合	単位数	2
教材	なし			教材費 (予定定価)	用具用材費:3,000円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	書や工芸に興味のある者。書を日常生活の中に取り入れて楽しみたい人。また、作品制作に集中するため、私語は一切禁止とするので、それに耐えられる人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	感性を磨き、個性豊かな書表現と書を日常生活へ調和させる力を伸ばす。 書の伝統と文化について理解を深める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	様々な用具・用材を用いて、文字やことばを題材とした工芸的な作品を制作する。
評価方法	日々の授業の中で、作品の制作過程および作品を4観点を基に評価する。 作品制作へ取り組む姿勢や態度、自己の理想の作品を制作するための向上心をもってとりにくんでいるかどうかを机間支援や作品を通じて総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
表札 ルームプレート カルタ 篆刻 表具体験 うちわ はがき ミニ屏風	工芸的な技法や用材を用いた書作品を制作する。  題材は主に筆書きをする。  筆書きの草稿を作るのに十分な時間をかけ、丁寧に仕上げる。

評価の観点

関心・意欲・態度	興味をもって、意欲的・主体的に授業が受けられている。 書に臨むにふさわしい姿勢、態度がとれている。
思考・判断・表現	題材選びから草稿作り、作品の完成まで、計画性をもって取り組むことができている。
技能	主体的な構想に基づいた、個性的創造的な表現の技能を身に付けている。
知識・理解	観ることの楽しみ、書の美しさや表現の効果を味わい、感じ取っている。

科目名	コミュニケーション英語 I	教科	外国語	単位数	3
教材	①VISTA English Communication I (三省堂) ②FROM(文英堂)		教材費 (予定定価)	①635円 ②463円	

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	読む、聞く、書く、話す活動を行うなかで、重要な単語、イディオム、文法構造を理解し、これらの4つの活動において使うことができるようになること。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	予習として本文を写したノートに板書を写す。教科書に則して4技能を取り入れた活動を行う。
評価方法	定期考査、1, 2学期中に一度のパフォーマンステスト、課題の提出状況等を総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
一学期: VISTA I Lesson1 Kerama Blue Lesson 2 Cool Japan Lesson 3 Mexican Dishes  文の各要素 文の種類	一般動詞 be動詞 一般動詞の疑問文 現在進行形を理解する。 過去形、助動詞(can,will)を理解する。  SVOCM 平叙文・疑問文・命令文・感嘆文の種類及び文の書き換えを理解する。
二学期 Lesson4 The Olympics Lesson 5 baobabs in Madagascar Lesson6 Toothbrushing in Edo  動詞の種類 時制	SVO(第三文型)、SVOO(第四文型)、SVOC(第五文型)を理解する。 不定詞、動名詞を理解する。  自動詞・他動詞・群動詞を理解する。 現在・過去・未来時制を理解する。
三学期 Lesson7 Machu Picchu Lesson8 Motala and Landmines Lesson9 Dick Bruna  進行形 完了形	現在完了形を理解する。 受動態を理解する。 関係代名詞を理解する。  現在・過去・未来進行形を理解する。 現在・過去完了形を理解する。

評価の観点

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
外国語表現の能力	外国語で書いたり話したりすることで、自分の考えなどを表現しようとしている。
外国語理解の能力	外国語で聞いたり読んだりすることで、話し手や書き手の意向などを理解しようとしている。
言語や文化についての知識・理解	テキストを通して、他国の文化に興味・関心を持ち、それについての意見をもっている、または、もとうとしている。

科目名	<b>コミュニケーション英語Ⅱ</b>	教科	外国語	単位数	3
教材	①VISTA English Communication I (三省堂) ②VISTA English Communication II (三省堂)		教材費 (予定定価)	①635円 ②655円	

共通履修科目	選択する学年	2
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	読む、聞く、書く、話す活動を行うなかで、重要な単語、イディオム、文法構造を理解し、これらの4つの活動において使うことができるようになること。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	予習として本文を写したノートに板書を写す。教科書に則して4技能を取り入れた活動を行う。
評価方法	定期考査、1, 2学期中に一度のパフォーマンステスト、課題の提出状況等を総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
一学期: VISTA I	
Lesson7 Machu Picchu	現在完了形を理解する。
Lesson8 Motala and Landmines	受動態を理解する。
Lesson9 Dick Bruna	関係代名詞を理解する。
二学期: VISTA II	
Lesson9 Dick Bruna	関係代名詞、関係副詞を理解する。
Lesson10 Tsujii, the Great Pianist	形式主語を理解する。
Lesson11 Ideas from Nature	分詞を理解する。
Lesson12 The Power of Words	仮定法を理解する。
三学期: VISTA II	
Lesson1 World Breakfasts	間接疑問文を理解する。
Lesson2 The Emerald Isle	比較を理解する。
Lesson3 Sakana-kun	分詞のを理解する。

評価の観点

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
外国語表現の能力	外国語で書いたり話したりすることで、自分の考えなどを表現しようとしている。
外国語理解の能力	外国語で聞いたり読んだりすることで、話し手や書き手の意向などを理解しようとしている。
言語や文化についての知識・理解	テキストを通して、他国の文化に興味・関心を持ち、それについての意見をもっている。また、もとうとしている。



科目名	<b>コミュニケーション英語Ⅱ</b>	教科	外国語	単位数	2
教材	VISTA English CommunicationⅡ(三省堂)		教材費 (予定定価)	655円	

共通履修科目	選択する学年	3
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	読む、聞く、書く、話す活動を行うなかで、重要な単語、イディオム、文法構造を理解し、これらの4つの活動において使うことができるようになること。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	予習として本文を写したノートに板書を写す。教科書に則して4技能を取り入れた活動を行う。
評価方法	定期考査、1, 2学期中に一度のパフォーマンステスト、課題の提出状況等を総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
一学期: VISTAⅡ Lesson6 Unique Countries Lesson7 The Galapagos Islands Lesson8 Shodo, Old and New	疑問詞+to不定詞、seemを理解する。 現在完了進行形、形式目的語を理解する。 部分否定、受け身を理解する。
二学期: VISTAⅡ Lesson8 Shodo, Old and New Lesson9 Water World Lesson10 A Long Friendship	部分否定、受け身を理解する。 関係代名詞の非制限用法、現在完了形の受け身を理解する。 過去完了形、強調構文を理解する。
三学期: VISTAⅡ ENJOY READING! Charlie and the Chocolate Factory	イディオム、構文を理解する。

**評価の観点**

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
外国語表現の能力	外国語で書いたり話したりすることで、自分の考えなどを表現しようとしている。
外国語理解の能力	外国語で聞いたり読んだりすることで、話し手や書き手の意向などを理解しようとしている。
言語や文化についての知識・理解	テキストを通して、他国の文化に興味・関心を持ち、それについての意見をもっている。また、もとうとしている。

科目名	<b>英語表現 I</b>	教科	外国語	単位数	2
教材	SELECT(三省堂)		教材費 (予定定価)	575円	

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列		選択できる系列	人間文化と芸術(2)
-----------------------	--------	------	--	---------	------------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	2	<input type="radio"/> 単一選択	<input checked="" type="radio"/> 複数選択可
-----------------------	--------	--------	---	----------------------------	----------------------------------------

選択の条件	なし
選択のめやす	コミュニケーションの手段として英語の力を高めたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	英語でのコミュニケーション能力を高めるために、聞く、話す、読む、書くための基礎的な力を付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	基礎的な文法の学習。 スピーチ、あるいは数人での会話等で英語でのコミュニケーション能力を高める。
評価方法	定期考査、課題の完成度や提出状況、小テストの結果、パフォーマンステストの様子等より総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<p>1学期 自己紹介、世界の食文化、スポーツ、旅行をテーマにした会話文を中心に据えた英語表現のトレーニングをする。</p> <p>2学期 芸能ニュース、日本の伝統文化、環境問題、世界の時事問題をテーマにした会話文を中心に据えた英語表現のトレーニングをする。</p> <p>3学期 芸術、自然科学、世界遺産、国際協力、活躍する高校生をテーマにした会話文を中心に据えた会話文を中心に据えた英語表現のトレーニングをする。</p>	<p>現在形、過去形、進行形を中心にした英語表現の基本練習をする。</p> <p>完了形、助動詞、動名詞、不定詞を中心にした英語表現の基本練習をする。</p> <p>関係代名詞、関係副詞、比較を中心にした英語表現の基本練習をする。</p>

**評価の観点**

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	授業に積極的に参加し、課題に取り組んでいる。
外国語表現の能力	与えられた話題について、自分の考えをまとめ、英語で自分の考えを書くことができるか。またそのことについて英語でコミュニケーションができる。
外国語理解の能力	相手の意図を明確に聞き取り、理解することができる。
言語や文化についての知識・理解	語彙力・文法力の基礎を習得している。

科目名	中国語コミュニケーション I	教科	外国語	単位数	2
教材	はじめての中国語すくすく		教材費 (予定定価)	2,700円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2	<input type="radio"/> 単一選択	<input checked="" type="radio"/> 複数選択可
------------------------------	--------	---	----------------------------	----------------------------------------

選択の条件	なし
選択のめやす	中国語、中国・台湾の文化に興味や関心のある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	中国語の基礎とともに、中国・台湾の文化も学ぶ。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	中国語の文字、発音を学び、簡単な会話を行う。映画やドラマからも多く学ぶ。中国文化にも触れる機会を設ける。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動状況、課題の提出状況、小テストの結果等)を総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国語概説</li> <li>・発音練習</li> <li>・呼称表現</li> <li>・これ、あれ表現、有る(ある、持っている)</li> <li>・数字</li> <li>・簡単な動作表現</li> <li>・時間の言い方</li> <li>・喜歡～</li> <li>・形容詞表現</li> </ul>	<p>中国語の体系を知り、ピンイン・声調に慣れる。 簡単な挨拶や身近なものの名前を表現できるようになる。</p> <p>100までの数字、年齢、誕生日、年月曜日がいえるようになる。</p> <p>春暁を暗記する。</p> <p>身近な動詞を知り、一日の流れを身近な中国語で言え、書けるようになる。</p> <p>中国・台湾の映画などを鑑賞する。</p> <p>まとめとして、中国語で自己紹介発表をする。</p>

評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	恥ずかしがらずに大きな声で発音できている。
外国語表現の能力	簡単な文法を使つてのあいさつレベルの会話ができている。
外国語理解の能力	学期ごとの暗唱や作文などの課題を通じ、内容を理解できている。
言語や文化についての 知識・理解	中国・台湾の文化・風俗・習慣などをニュース等を通じて知ろうとしている。

科目名	中国語コミュニケーションⅡ	教科	外国語	単位数	2
教材	中国語のToBiRa	教材費 (予定定価)		2,808円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3	<input type="radio"/> 単一選択	<input checked="" type="radio"/> 複数選択可
------------------------------	--------	---	----------------------------	----------------------------------------

選択の条件	「中国語コミュニケーションⅠ」を2年生で履修した人。
選択のめやす	中国語、中国・台湾の文化に興味や関心のある人。 「中国語コミュニケーションⅠ」に続いて、さらに発展した内容で中国語を学習したい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	中国語の会話能力を身につけるとともに、中国・台湾の社会背景、習慣、文化を学ぶ。 将来も中国語を学び続けることができる、発展的な能力を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	中国語の文字、発音を学び、単語数を増やして会話を行う。映画やドラマなどからも多く学ぶ。中国文化に触れる機会を設ける。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動の状況、課題の提出状況、小テストの結果等)を総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音の復習</li> <li>・指示代名詞、基本的な文法の復習</li> <li>・動作表現</li> <li>・完了、時量表現</li> <li>・現在進行形</li> <li>・能力表現</li> </ul>	<p>簡単な挨拶や文章表現の受け答えをする。</p> <p>単語数を増やして、会話能力を高める。</p> <p>中国や台湾の映画・ドラマを鑑賞する。</p> <p>テキストの登場人物の今後を中国語を交えて創作していく。</p>

評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	入門レベルより更に積極的に参加している。
外国語表現の能力	入門から初級レベルの会話能力を身に付けている。
外国語理解の能力	日本語との対比も取り入れて、日中の違いを理解できている。
言語や文化についての 知識・理解	映画などを通じ、広東語・台湾語にも触れることで、共通語との違いを感じている。

科目名	<b>資格検定英語</b>	教科	外国語	単位数	2
教材	①英語総合トレーニング(旺文社) ②リスニングトライアル(文英堂)	教材費 (予定定価)	①929円 ②756円		

(○)系列選択科目	必修系列	ビジネスコミュニケーション(2)	選択できる系列	
-----------	------	------------------	---------	--

(○)自由選択科目	選択する学年	2
-----------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	短大・4年制大学進学希望者、就職活動において資格を必要とする人、あるいは資格取得が有利に働く進路に進もうと考える人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	実用英語技能検定2級に合格できる知識・能力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	実用英語技能検定試験に準じた問題集を用いて、問題演習を行う。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査、授業への取り組み、提出物の状況を総合的に評価する</li> <li>* 定期考査                      * 単語テスト・リスニング演習の取り組み</li> <li>* 提出物(単語学習プリント・リスニングトライアル・英語総合トレーニング)</li> </ul>

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験問題演習(リスニング・筆記)</li> <li>週1回単語・熟語テスト実施</li> <li>週1回リスニング演習実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解答</li> <li>解答および解説</li> </ul>

**評価の観点**

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
外国語表現の能力	外国語で書いたり話したりすることで、自分の考えなどを表現しようとしている。
外国語理解の能力	外国語で聞いたり読んだりすることで、話し手や書き手の意向などを理解しようとしている。
言語や文化についての 知識・理解	テキストを通して、他国の文化に興味・関心をもち、それについての意見をもっている。また、もとうとしている。

科目名	<b>英語会話</b>	教科	外国語	単位数	2
教材	SELECT English Conversation (三省堂)	教材費 (予定定価)	550円		

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3	<input type="radio"/> 単一選択	<input checked="" type="radio"/> 複数選択可
------------------------------	--------	---	----------------------------	----------------------------------------

選択の条件	なし
選択のめやす	英語に興味があり、英会話力を身に付けたいと思っている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	あいさつなど日常会話ができる力を身に付け、身近な話題について英語を聞いたり、話したりして、情報や相手の考えを理解し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	ALTと日本人の英語教師とのチーム・ティーチングでの授業を通して、英会話の力を身に付けるための学習を行う。
評価方法	定期考査、パフォーマンステスト、課題の提出状況、授業への取組の姿勢等で評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 ・自分の興味のあるもの ・余暇について ・体調について ・学校について ・天気、気候について 2学期 ・自分の好みについて ・待ち合わせ ・道案内 ・乗り物での行き方について ・買い物 3学期 ・食事の注文について ・相手を誘う表現 ・将来やりたいことについて	あいさつ・質問・答えなど日常会話に必要な表現を学びます。 英語を聞き取り、話したりする力を身に付けるため、リスニングやスピーチなどさまざまな活動を行います。

**評価の観点**

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
外国語表現の能力	外国語で書いたり話したりすることで、自分の考えなどを表現しようとしている。
外国語理解の能力	外国語で聞いたり読んだりすることで、話し手や書き手の意向などを理解しようとしている。
言語や文化についての 知識・理解	テキストを通して、他国の文化に興味・関心を持ち、それについての意見をもっているか。また、もとうとしている。

科目名	<b>異文化理解</b>	教科	外国語	単位数	2
教材	英語百科(大修館書店)	教材費 (予定定価)	928円		

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3	<input type="radio"/> 単一選択	<input checked="" type="radio"/> 複数選択可
------------------------------	--------	---	----------------------------	----------------------------------------

選択の条件	なし
選択のめやす	異文化に関心があり、異文化を知る必要のある職種を目指す人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	外国にある様々な文化を学び、同時に自国の文化と比べることによりさらに異文化理解を深める。また、環境問題、エネルギー問題等、世界規模での問題についても考えていく。そして学習活動を通し、自分の考えをまとめて発表する力も身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	芸能・ファッション・生活習慣等の「文化」をはじめとして、世界的に問題となっていること、たとえば環境破壊やエネルギー問題等を学び考えていく。調べ学習、発表の形も積極的に実施していく。
評価方法	定期考査、授業への取り組みの姿勢や発表内容、課題の提出状況などを総合的に判断して評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<p>1学期 自分の理想とする国をイメージし、その国を国旗を作る 地球環境の問題 各国の文化を学ぶ</p> <p>2学期 世界のことわざを通して文化・考え方の違いを学ぶ 日本の文化について知る</p> <p>3学期 理想の国の国旗を作る(1年間学んだことを生かして) 1年間学んだことや、外国の文化や日本の文化の中で興味・関心を持った内容や疑問を持った内容について発表する。</p> <p>以上、すべての項目で調べ学習、発表を行う。</p>	<p>世界的な問題である環境問題、世界の様々な国とその文化を学習します。</p> <p>各国の「文化の違い」を、さらに深めて学びます。</p> <p>それぞれのテーマに関連した簡単な英文を投げ入れ教材として読んでいきます。3学期には、1、2学期に学んだ内容から、興味をもったことについて発表する機会をもてればと考えています。</p>

評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。 教科書や英文の内容を理解しようと努力している。
外国語表現の能力	外国語で書いたり話したりすることで、自分の考えなどを表現しようとしている。
外国語理解の能力	外国語で聞いたり読んだりすることで、話し手や書き手の意向などを理解しようとしている。
言語や文化についての 知識・理解	テキストを通して、他国の文化に興味・関心を持ち、それについての意見をもっている。 またもようとしている。

科目名	<b>英語演習</b>	教科	外国語	単位数	2
教材	就職・進学のためのアプローチEnglish	教材費 (予定定価)	411円		

<input type="radio"/> 系列選択科目	必修系列	選択できる系列	自然科学と情報 ビジネスコミュニケーション 子どもと暮らし
------------------------------	------	---------	-------------------------------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3	<input type="radio"/> 単一選択    ☆ 複数選択可
------------------------------	--------	---	---------------------------------------

選択の条件	なし
選択のめやす	就職・進学において英語での受験がある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	就職・進学対策として、英語の基礎的な学力と基本的・常識的な知識を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	実際に企業の入社試験に出題された問題を中心に問題演習を行う。
評価方法	定期考査、授業への取り組みの姿勢、発表内容、課題の提出状況、小テストの結果などを総合的に判断して評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1. 文(1)            17. 完了時制 2. 文(2)            18. 受動態 3. 名詞            19. 仮定法 4. 代名詞          20. Itの用法 5. 冠詞            21. 時制の一致と話法 6. 形容詞          22. 前置詞 7. 副詞            23. 接続詞 8. 比較            24. 句と節 9. 助動詞(1)      25. 発音・文の読み方 10. 助動詞(2)    26. 会話・口語表現 11. 不定詞(1)    27. 外来語 12. 不定詞(2)    28. 単語 13. 分詞           29. 略語・掲示用語 14. 動名詞        30. ことわざ 15. 関係代名詞   31. イディオム 16. 関係副詞     32. 総合問題(1)～(6)	・文法事項を押さえながら、問題演習をくり返し行うことにより、基礎的な文法事項と英語の知識の定着を図る。

**評価の観点**

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
外国語表現の能力	外国語で書いたり話したりすることで、自分の考えなどを表現しようとしている。
外国語理解の能力	外国語で聞いたり読んだりすることで、話し手や書き手の意向などを理解しようとしている。
言語や文化についての 知識・理解	テキストを通して、言語や文化について理解を深めようとしているか。



科目名	<b>英語多読速読</b>	教科	外国語	単位数	2
教材	Watching Light(浜島書店)	教材費 (予定定価)	520円		

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	自然科学と情報(3)	選択できる系列	人間文化と芸術(3)
-----------------------	--------	------	------------	---------	------------

<input type="checkbox"/>	自由選択科目	選択する学年	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/> 単一選択	<input type="checkbox"/> 複数選択可
--------------------------	--------	--------	--------------------------	----------------------------	--------------------------------

選択の条件	なし
選択のめやす	英文を読むことに興味・関心があり、大学進学を希望する人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	段落ごとに大意をつかみながら、英文をできるだけ速く正確に読みとる力を付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	Watching Lightをテキストとして使用する。英文中の意味のまとまりのある語句を見分けて、その内容を把握し、英文全体の理解につなげることを目指す。
評価方法	定期考査、授業への取り組みの姿勢、提出物の状況や小テストの結果などを総合的に判断して評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期前半 1. Karolina Styczynska:Joryuukishi 2. B.League Started 3. VR Will Change Your Life  1学期後半 4. Honey pple of Hope 5. How to Enjoy 6. Solar Plane Files Around the World  2学期前半 7. Nishihata Seijin: Plant Hunter 8. Our Love For Cats 9. History of Halloween  2学期後半 10. Internationally Poppular Fruit Farm 11. Cup Noodles 12. What Is the Hometown Tax?  3学期 13. The World Loves Anime 14. The Peaceful Sloth	英文を読み進めながら、内容や文法事項について理解させる。 日本語訳にこだわらず、読解力(文章にこめられた筆者の意図をくみ取ること)を把握することに重点をおく。 入試の長文問題にも応用がきく英文読解力の養成を目指す。

**評価の観点**

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
外国語表現の能力	外国語で書いたり話したりすることで、自分の考えなどを表現しようとしている。
外国語理解の能力	外国語で聞いたり読んだりすることで、話し手や書き手の意向などを理解しようとしている。
言語や文化についての 知識・理解	テキストを通して、他国の文化に興味・関心をもち、それについての意見をもっている。また、もとうとしている。

科目名	英語メディアリテラシー基礎	教科	外国語	単位数	2
教材	授業中に配布するプリント		教材費 (予定定価)	なし	
	系列選択科目	必修系列	選択できる系列		

自由選択科目	選択する学年	3	○ 単一選択 ☆ 複数選択可
--------	--------	---	----------------

選択の条件	なし
選択のめやす	将来、留学をしたり、海外で生活をしたと考えている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	ニュースや出版物等マスメディアに登場する様々な話題を英語で読んだり視聴して、文化の違いや発信者の意図を理解する。新聞や出版物の記事に関して自分の意見をレポートにまとめる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	英文を読んだり著名人のスピーチを視聴し、英語力を養う。発信者の意図とその背景にある文化についても調べ学習を取り入れ、学んでいく。
評価方法	定期考査、課題の提出状況、授業への取り組みの姿勢等で評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 海外のニュース	・ニュースの視聴、記事の読み解き。
2学期 海外のニュース	・海外の記事に関して意見を述べる。
3学期 海外のニュース	・ニュースを通して様々な時事問題について考える。

評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
外国語表現の能力	外国語で書いたり話したりすることで、自分の考えなどを表現しようとしている。
外国語理解の能力	外国語で聞いたり読んだりすることで、話し手や書き手の意向などを理解しようとしている。
言語や文化についての 知識・理解	テキストを通して、他国の文化に興味・関心をもち、それについての意見をもっている。また、もとうとしている。

科目名	<b>英語の音楽と映画</b>	教科	外国語	単位数	2
教材	授業中に配布する資料		教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3	<input type="radio"/> 単一選択	<input checked="" type="radio"/> 複数選択可
------------------------------	--------	---	----------------------------	----------------------------------------

選択の条件	なし
選択のめやす	英語の歌や映画に興味があり、学習したい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	聞く、読む、話す力に重点を置き、ネイティブにより近い発音や日常会話において役に立つ英語フレーズを身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	音楽では歌詞を読み、翻訳と比べながら英語の感覚をつかむ。また歌を歌い、より自然なテンポで英語を話す。映画では日常で使えるようなフレーズの習得や、会話に出てくるフレーズで文法を学習する。
評価方法	定期考査、毎授業の課題提出状況、授業への取り組みの様子、発表等を総合的に評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
ー1学期ー ・音楽 ディズニー映画の主題歌・ビートルズの楽曲等	・楽曲の背景も学びながら、英語歌詞と翻訳を比較する。 ・作曲家が何を伝えたかったのかを考えながら英語を読む。 ・英語の歌詞を覚え歌う。 ・字幕を見ながら英語音声での映画を見て、理解する。 ・登場人物の心情を理解する。 ・自分の気に入った作品について調べ、まとめる。
ー2学期ー ・映画 ジブリ映画、ディズニー映画等	
ー3学期ー ・まとめ 1・2学期で深めた知識を生かして、自分の最も気に入った作品について調べて発表する	

**評価の観点**

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に授業・課題に取り組んでいる。
外国語表現の能力	作者や登場人物の考えを聞き取り、英語の歌詞で歌える。作品から読み取ったことを自分の言葉でまとめ、表現できる。
外国語理解の能力	作曲家や監督が伝えたかったことを読み取っている。
言語や文化についての知識・理解	作品の中で学んだことを自分の知識として定着させられている。

科目名	<b>家庭基礎</b>		教科	家庭	単位数	2
教材	①教科書「新図説 家庭基礎」実教出版 ②副教材「ニュービジュアル家庭科2018 資料＋成分表」実教出版			教材費 (予定定価)	①525円 ②842円 実習費 500円(予定)	

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	家庭生活を見つめ直し、問題点があれば解決できるように、人の一生と家族、子どもの発育と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得することを目標にしている。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	実習を組み入れながら、教科書・資料集・プリントを使って授業を進める。学校家庭クラブ活動やホームプロジェクトを通じて実践していく。
評価方法	期末考査、平素の授業での活動の取り組み状況、ホームプロジェクトの内容、各実験・実習等のプリント提出と実技の状況を総合的に評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容		学習活動
1学期	1. 人の一生と青年期の課題	自立や男女平等と相互の協力について認識する。
	2. 家族・家庭と社会について考える	家庭の機能と家族関係、家族にかかわる法律を理解し、協力して家庭を築くことの重要性を認識する。
	3. 共生社会をつくる	家庭生活を支える社会保障・社会福祉のしくみと課題を理解する。
	4. 生活のデザイン	自分の将来の生活設計(特に職業の選択や家庭生活)を考える。
	5. 健康で快適な衣生活	衣生活を営むのに必要な知識や技術技術を身に付ける。
2学期	6. 生涯の健康を見通した食生活をつくる	栄養、食品、調理等について科学的に理解し、食生活に必要な知識と技術を身に付ける。 主体的に食生活の課題を見つけ解決していく能力を身に付ける。  日本の伝統的な行事に関心をもつ。
	7. 経済生活の設計	消費者として主体的に責任をもった行動ができるようにする。 家庭の経済生活、消費者の権利と責任について理解し、現代の消費生活の課題について考える。  資源や環境に配慮した生活ができるようにする。
3学期	8. 安全で快適な住生活をつくる	住生活について科学的に理解し、充実した生活ができるようにする。 自分達の住まいが快適で健康で安全なものであるかを考える。
	9. 子どもと子育てについて知る	子どもの発達と保育、子どもの福祉等について理解し、親の役割と保育の重要性、社会の責任について認識する。
	10. 高齢者の生活と福祉について考える	高齢者の心身の特徴と生活高齢者の福祉等について理解し、介護の基礎を体験的に学ぶ。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	人の一生と家族、衣・食・住生活、消費生活について関心をもち、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	人の一生と家族、衣・食・住生活、消費生活について考え、生活課題の解決に向けて工夫している。
技能	人の一生と家族、衣・食・住生活、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
知識・理解	人の一生と家族、衣・食・住生活、消費生活に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

科目名	<b>子どもの発達と保育</b>	教科	家庭	単位数	4
教材	①「子どもの発達と保育」実教出版 ②副教材「子どもの発達と保育 ワークノート」実教出版		教材費 (予定定価)	①455円 ②724円 実習費 500円(予定)	

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	子どもと暮らし
---	--------	------	---------	---------

自由選択科目	選択する学年	2
--------	--------	---

選択の条件	子どもと暮らし系列選択者。「幼児教育音楽A」も併せて選択すること。
選択のめやす	幼稚園教諭・保育士になることを希望している人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得し、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・副教材・プリント・視聴覚教材を使い、子どもの発達についての基礎的知識について学習する。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(実習の様子、活動の様子、課題の提出状況、小テストの結果など)を総合的に評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

	学習内容	学習活動
1学期	1子どもの保育 2子どもの発達の特性 3子どもの発達過程	保育の意義・目標・環境を学ぶ。 子どもの発達の特徴について知識を習得し、保育実習や視聴覚教材を通して、さらに理解を深める。
2学期	4子どもの生活 5児童文化財の製作	子どもに関わる事柄についての知識と技術を学ぶ。
3学期	6子どもの福祉と子育て支援	児童福祉の理念、子育て支援について学ぶ。

評価の観点

関心・意欲・態度	乳幼児の発達と特徴、生活と保育などに関心をもち、子どもの成長を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	子どもの健全な成長に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、学習した知識と技術を活用して工夫する能力を身に付けている。
技能	乳幼児の発達の特徴、生活と保育などに関する技術を身に付け、適切に乳幼児と関わることができるとともに、それを通して得た成果を的確に表現する。
知識・理解	乳幼児の発達の特徴、生活と保育などに関する知識を身に付け、保育の必要性和意義を理解している。

科目名	<b>暮らしと社会生活A</b>	教科	家庭	単位数	2
教材	副教材「介護職員初任者研修テキスト」中央法規	教材費 (予定定価)	『介護職員初任者研修課程』受講生必要教材セット8,966円		

○	系列選択科目	必修系列	子どもと暮らし	選択できる系列
---	--------	------	---------	---------

自由選択科目	選択する学年	2
--------	--------	---

選択の条件	介護職員初任者研修課程受講生は必修。「社会福祉基礎」、「生活と福祉」も併せて受講すること。修了評価テスト、ボランティア体験がある。
選択のめやす	「子どもと暮らし」系列選択者で、高齢者福祉を深く学びたいと考える人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	介護の意義と役割を理解し、関心を深めることにより、将来社会福祉の仕事に就きたいと考えている人にとって、高齢者や障害者への総合的な介護活動が実践できるための基礎的な知識・技術を養うことを目的とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習を行う。社会福祉が日常生活にどのように結びついているのかを考え、演習も交えながら福祉への興味・関心を高める活動が中心となる。
評価方法	定期考査の結果や授業・演習への取り組みの様子と、提出物の状況などを総合的に判断する。

### 学習計画 (1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<b>1学期</b> 職務の理解 ① 介護職員初任者研修とは ② 多様なサービスの理解 ③ 介護職の仕事と職場 <b>2学期</b> 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と他職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全 <b>3学期</b> 家事支援における介護技術 ① 調理、洗濯、掃除、裁縫、衣類・寝具の衛生管理、 買い物、家庭経営	・各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する ・介護環境の特徴(施設と在宅との違い、地域包括ケアの方向性など)を学ぶ ・介護の専門性について考え、専門職に求められるものが何かを学ぶ ・多職種連携の目的を学び、利用者を支援するさまざまな専門職について理解する ・介護職がもつべき職業倫理を学ぶ ・利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶ ・介護の特徴を踏まえて、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ ・家事援助(調理、洗濯、掃除などの援助)は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する

### 評価の観点

関心・意欲・態度	社会福祉に対する関心をもち、課題に意欲的に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	日常生活の中にある、社会福祉の問題について気づき、解決のため創意工夫をする能力を身に付けている。
技能	社会福祉に関する様々な情報を適切に選択し、実習などで適切に活用することができる。
知識・理解	現代社会の社会構造の変容や特色についての基本的な知識を身に付けている。

科目名	<b>暮らしと社会生活B</b>	教科	家庭	単位数	2
教材	教科書「生活デザイン」実教出版			教材費 (予定定価)	695円

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	家庭生活に関する内容をさらに深く学びたいと考える人が望ましい。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	家庭生活に関する知識や技術を総合的に習得し、生活課題を主体的に解決する力や生活の充実向上を図る実践的な態度を身につけることを目的とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習を行う。実習も組み入れながら、自らの家庭生活で実践できる力を身に付ける。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習・発表への取り組みの様子と、提出物などを総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 家庭生活 人と関わって生きる	教科書、プリント等を使って行う講義内容を自らの家庭生活に結びつけて考え、実習を通して実生活で実践できる力を身に付けることができるように授業を行う。
2学期 保育 親になること、子どもの生活を考える	
3学期 食生活 自立したよりよい食生活を考える	

**評価の観点**

関心・意欲・態度	意欲をもって授業に取り組み、提出物をきちんと提出できている。
思考・判断・表現	学習内容を自らの家庭生活に結びつけ、生活課題の解決に向けて工夫している。
技能	実習の技能を習得している。
知識・理解	豊かな家庭生活をおくるための基礎的・基本的な知識を身に付けている。

科目名	<b>生活と福祉</b>	教科	家庭	単位数	4
教材	教科書「生活支援技術」実教出版、副教材「介護職員初任者研修テキスト」中央法規、「介護技術チェックシート」公益財団法人介護労働安定センター	教材費 (予定定価)	『介護職員初任者研修課程』受講生必要教材セット8,966円		

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	子どもと暮らし
---	--------	------	---------	---------

自由選択科目	選択する学年	2
--------	--------	---

選択の条件	介護職員初任者研修課程受講生は必修。「社会福祉基礎」、「暮らしと社会生活A」も併せて受講すること。修了評価テスト、ボランティア体験がある。
選択のめやす	「子どもと暮らし」系列選択者で、高齢者福祉を深く学びたいと考える人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	社会福祉について多くのことを知り、関心を深めることにより、将来社会福祉の仕事に就きたいと考えている人にとっての基礎的な力を養うことを目的とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	介護に必要な知識・技術を、演習も交えながら体験的に学習していく。知識・技術の定着をはかるため実習のレポートをきちんと作成し、学習することが必要である。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習への取り組みの様子と、提出物の状況などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
老化の理解 老化に伴うところとからだの変化と日常 認知症の理解 認知症を取り巻く状況 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活 障害の理解 障害の基礎的理解と障害の医学的側面、生活障害、かわり支援等の基礎的知識 介護に関する基礎的理解 介護に関するところとからだのしくみの基礎理解 生活と家事、快適な居住環境整備 整容、移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護 介護過程の基礎的理解	老化が影響を及ぼす心理や行動について理解する。 「認知症を中心としたケア」から、「その人を中心としたケア」に転換することの意義を理解する。 老化のしくみと脳の変化を学び認知症の原因を理解する。 認知症の症状を知り、どのようなケアが必要かを学ぶ 「障害とはどういうものなのか」という考え方を学ぶ 「介護」の変遷について理解する。 学習と記憶、感情と意欲、自己概念と生きがい、老化や障害の受容に関する基礎的知識を理解する。 骨や関節など、体の動きのメカニズムなどを理解する。 家事援助(調理、洗濯、掃除などの援助)は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する。 高齢者や障害のある人が生活するなかで、住宅改修や福祉用具を利用する意味や視点を学ぶ。 利用者本人の力を活用し、それぞれの介護を行うための技術を身につける。 終末期のとらえ方を学ぶ。 介護過程の目的と意義について理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	よりよい介護を目指し、思いやりの姿勢で意欲的に学習や実習に臨むことができる。
思考・判断・表現	介護の基礎的な知識技術を活用し、介護に関する諸問題を解決するための創意工夫する能力を身に付けている。
技能	基本的な介護技術を身に付け、適切な介護を行うことができる。
知識・理解	介護についてその意義や役割を理解している。



科目名	<b>子ども文化</b>	教科	家庭	単位数	2
教材	教科書「子ども文化」文部科学省	教材費 (予定定価)	275円		

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	子どもと暮らし
-----------------------	--------	------	---------	---------

<input type="checkbox"/>	自由選択科目	選択する学年	3
--------------------------	--------	--------	---

選択の条件	子どもの暮らし系列選択者。(保育系を選択する人)
選択のめやす	幼稚園教諭・保育士になることを希望している人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得し、子ども文化の充実を図る能力と態度を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・プリントを使った学習が中心となり、また発表や作品製作などをする。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習・実習・発表への取り組みの様子と、提出物の状況などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<p>子ども文化の重要性、子どもと遊び、子どもの表現活動と児童文化財、子ども文化を支える場、子ども文化実習などを実践的に学ぶ。</p> <p>保育士を目指すために必要な知識・技術を学んでいく。</p>	<p>講義形式で子ども文化についての理解を深めるとともに、発表や作品製作やその他の表現活動を個人およびグループで行い、実践力を高める。</p>

評価の観点

関心・意欲・態度	子ども文化について、遊びや児童文化財、年中行事などのかかわりなどに関心を持ち、意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。幼児の発達と特徴、生活と保育などに関心を持ち、子どもの成長を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	プリントやワークシートをまとめ、子どもの遊びや表現活動をふまえた児童文化財を作る技術を身に付ける。
技能	プリントやワークシートをまとめ、児童文化財を作る技術を身につけて、児童文化財を通して、子どもと関わりをもつことができる。
知識・理解	子ども文化について基礎的な知識を身に付けている。

科目名	<b>リビングデザイン</b>	教科	家庭	単位数	2
教材	なし	教材費 (予定定価)		なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	住生活に興味関心をもっている人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	生活と住居、インテリアなどに関する知識と技術を学習し、快適な住空間をデザインする力の習得を目指す。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義や実習、発表など実践的、体験的な学習活動を行う。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習への取り組みの様子と、提出物などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
伝統的な住居の工夫(日本の住まい) 平面図、住宅情報を読み取る 住生活の住居と変遷 住生活と環境 住生活の選択と管理 住居の設計 インテリア	講義内容で学んだことを自らの家庭生活に結びつけて考え、実生活で実践できる力を身に付けることができるように学習する。学んだことや調べたことを発表する学習をする。

評価の観点

関心・意欲・態度	住居の機能、設計、管理などの住生活の設計に関心を持ち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。
思考・判断・表現	充実した住生活を営むために住居の機能、設計、管理などについて課題を見つけ、その解決を目指し思考を深め、適切に判断できる。
技能	住生活と技術との関わりを考え、住生活を合理的に管理するため基礎的・基本的な技術を身に付けている。
知識・理解	住居機能、設計管理などについて理解し、充実した住生活を営むために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。

科目名	<b>消費生活</b>	教科	家庭	単位数	2
教材	教科書「消費生活」文部科学省		教材費 (予定定価)	315円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	家庭消費生活についての興味関心を持ち、一人の生活者としての自立を目指す人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	消費者としての権利や責任、契約、消費生活の情報について学び、生活者として自立した消費生活を送るための知識・技術を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書・プリントを用いて、家庭の消費生活について学習する。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習への取り組みの様子と、提出物の状況などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
消費者と消費生活 消費者被害と消費者の権利と責任 消費生活と安全、情報 契約と消費生活 環境と消費者	教科書、プリントを使って講義内容を自らの家庭生活に結びつけて考え、一人の生活者として自立した消費生活を送ることができるような力を身に付けることができるようにする。

評価の観点

関心・意欲・態度	家庭の消費生活に関わる事柄に関心を持ち、その改善点を見つけ、向上を目指して意欲的に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	自立した生活者としての消費生活を目指して思考を深め、学習した知識を活用して生活ができるようにする。
技能	学習した知識を生かして、消費生活の問題点を改善していく力を身に付けている。
知識・理解	現代の消費生活について総合的に理解し、自身の生活をよりよくする知識をもっている。

科目名	<b>服飾手芸</b>	教科	家庭	単位数	2
教材	教科書「ファッション造形基礎」実教出版		教材費 (予定定価)	① 430円 実習費 1,090円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	衣生活に興味関心をもつ人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	手芸の種類と変遷、各種手芸の技法に関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書、プリントを用いて手芸の種類と変遷、各種手芸の技法に関する知識と技術を習得し、基礎縫い、刺繍、編み物などの基礎から学習し、作品を仕上げる。
評価方法	定期考査、授業への取り組み(活動の様子、課題の提出状況、実習の様子など)を総合的に評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

	学習内容	学習活動
1学期	衣服の構成 衣服の素材  手芸品の製作 刺しゅう、かぎ針編み	立体構成衣服と平面構成衣服の違いを世界の民族衣装を通して知る。 衣服素材の種類として、繊維・糸・布について理解する。 繊維の燃焼実験、三原組織 等  手芸の種類と変遷、各種手芸の技法に関する知識と技術を習得する。手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する。
2学期	パッチワーク、かぎ針編み	
3学期	かぎ針編み、ミシン	

評価の観点

関心・意欲・態度	衣生活、手芸に関する関心を持ち、その充実向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	自身の衣生活、手芸品を創造的にデザインすることを目指して思考を深め、学習した知識と技術を活用して創意工夫する力を身に付けている。
技能	学習内容をふまえて、作品の製作をとおして、手芸に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。
知識・理解	衣生活、手芸に関する種類・技術を理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

科目名	<b>食文化</b>	教科	家庭科	単位数	2
教材	教科書「フードデザイン」実教出版	教材費 (予定定価)		615円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	食文化について興味関心をもって、一人の生活者として自立を目指す人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	日本の食文化についての知識理解を深め、自身の食生活を豊かにする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書、プリントを用いて食文化についての知識理解を深め、調べ学習をし、発表をする。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習・発表への取り組みの様子と、提出物の状況などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
伝統的な日本の食文化(行事食や郷土料理の理解) 食生活と健康 栄養素の働きと食事の計画 食品の特徴・表示・安全 テーブルコーディネート テーブルマナー	栄養、食品、料理形式と献立などのテーブルコーディネート、日本の食文化と食育に関する知識について学習する。また、食文化について調べた内容を発表する。

評価の観点

関心・意欲・態度	食生活に関する諸問題に関心を持ちその改善・向上を目指して意欲的に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	食事を総合的にデザインすることを目指して思考を深め、学習した知識と技術を活用して創意工夫する能力を身に付けている。
技能	食事を総合的にとらえて計画・実践し、栄養・食品・献立・テーブルコーディネートなどに関する技術を身に付けている。
知識・理解	食事の意義や役割、豊かな食事、日本の食文化について総合的に理解し、栄養・食品・献立・テーブルコーディネートなどに関する知識を身に付けている。

科目名	<b>社会福祉基礎</b>	教科	福祉	単位数	2
教材	教科書「社会福祉基礎」実教出版、副教材「介護職員初任者研修テキスト」中央法規	教材費 (予定定価)	『介護職員初任者研修課程』受講生必要教材セット8,966円		

○	系列選択科目	必修系列	子どもと暮らし	選択できる系列
---	--------	------	---------	---------

自由選択科目	選択する学年	2
--------	--------	---

選択の条件	介護職員初任者研修課程受講生は必修。「生活と福祉」、「暮らしと社会生活A」も併せて受講すること。修了評価テスト、ボランティア体験がある。
選択のめやす	「子どもと暮らし」系列選択者で、高齢者福祉を深く学びたいと考える人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	社会福祉について多くのことを知り、関心を深めることにより、将来社会福祉の仕事に就きたいと考えている人にとっての基礎の力を養うことを目的とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習を行う。社会福祉が日常生活にどのように結びついているのかを考え、演習も交えながら福祉への興味・関心を高めていく。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習への取り組みの様子と、提出物などから総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 介護における尊厳の保持・自立支援 人権と尊厳を支える介護 自立に向けた介護	介護を必要とする人が有する権利とは何かを学ぶ 介護に関する基本的な視点(ICF、QOL、ノーマライゼーション)について理解する。 利用者の権利を擁護するための制度の種類や内容について理解する。
2学期 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 介護保険制度 医療との連携とリハビリテーション 障害者総合支援法(障害者自立支援制度)とその他制度 個人の権利を守る制度の概要	介護保険制度が創設された背景を理解したうえで、制度の目的と動向について学ぶ。 介護保険制度の基本的なしくみを理解する。 介護保険制度にかかわる組織とその役割を理解するとともに、制度の財政について学ぶ。 対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。
3学期 介護におけるコミュニケーション技術 介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション	介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する。 利用者に応じたコミュニケーションの実際を理解する。

評価の観点

関心・意欲・態度	社会福祉に対する関心をもち、福祉社会にむけた課題に意欲的に取り組もうとしている。
思考・判断・表現	日常生活の中にある、社会福祉の問題について気づき、解決のため創意工夫をする能力を身に付けている。
技能	社会福祉に関する様々な情報を適切に選択し、実習などで適切に活用することができる。
知識・理解	現代社会の社会構造の変容や特色についての基本的な知識を身に付けている。

科目名	<b>コミュニケーション技術</b>	教科	福祉	単位数	2
教材	教科書「コミュニケーション技術」実教出版		教材費 (予定定価)	720円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	2年次に子どもと暮らし系列を選択しており、高齢者福祉、障害者福祉を深く学びたいと考える人が望ましい。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	高齢者や障害者と接する際の共感的態度やコミュニケーションの基本・技法について学ぶ。実践演習を中心に、介護福祉援助活動で活用できる実践能力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を中心に学習を行う。社会福祉が日常生活にどのように結びついているのかを考え、演習も交えながら福祉への興味・関心を高めていく。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習・発表への取り組みの様子と、提出物などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期 介護におけるコミュニケーション コミュニケーションの意義と役割 コミュニケーションの基本技術 援助の技法とコミュニケーション  2学期 サービス利用者や家族とのコミュニケーション サービス利用者や家族とのコミュニケーション サービス利用者に応じたコミュニケーション  3学期 介護におけるチームのコミュニケーション 記録 チームによる連携 スーパービジョンの技法	コミュニケーションの意義や役割を理解する。 サービス利用者や家族あるいは多職種との協働におけるコミュニケーションのあり方について理解する。 チームケアのためのコミュニケーションの重要性について知る。 記録等についての知識・技術を習得する。 介護実践、援助活動で活用できる能力と態度を養う。

評価の観点

関心・意欲・態度	意欲をもって授業に取り組み、提出物をきちんと提出できている。
思考・判断・表現	様々なコミュニケーションについて、自分なりに考えて表現することができる。
技能	実技の技能を習得している。
知識・理解	コミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

科目名	<b>ビジネス基礎</b>	教科	商業	単位数	2
教材	ビジネス基礎(実教出版)		教材費 (予定定価)	905円	

○	系列選択科目	必修系列	ビジネスコミュニケーション	選択できる系列	
---	--------	------	---------------	---------	--

自由選択科目	選択する学年	2
--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	ビジネスに深く興味があり、簿記を選択する人。また、就職を希望している人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得し、経済社会の一員としてビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を学ぶ。特にビジネスマナーが身に付くように毎時間練習を行う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を用いて学ぶとともに、世の中の動向についても意識しながらビジネスの具体的な事例を通して経済社会について学習する。電卓を用いて学習することがある。
評価方法	定期考査を実施(知識・理解)、授業への取り組み方の姿勢(関心・意欲・態度)、提出物の状態(思考・判断・表現)、迅速かつ正確な計算(技能)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第2章 経済と流通の基礎	商品の定義を学び、経済の仕組みや経済主体と経済循環を学ぶ。
第3章 ビジネスの担い手	消費者ニーズを満たす商品を提供する様々な担い手について理解する。
第4章 企業活動の基礎	企業の役割や種類などについて理解する。
第5章 ビジネスと売買取引	売買契約における品質・数量・価格の決め方・受渡条件・代金決済などについて理解する。
第6章 売買に関する計算	電卓を用いて、割合の表し方、度量衡、取引数量と建、利息計算、商品代金の計算方法(代価・原価・定価など)を理解する。
第7章 ビジネスとコミュニケーション	ビジネスマナーの実際について学習する。電話の対応や言葉使い等を学習する。

評価の観点

関心・意欲・態度	ビジネスについて関心をもち、ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の一員としての望ましい心構えや実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	ビジネスの諸活動への適切な対応を目指して思考を深め、基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	ビジネスに関する基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動への適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	ビジネスに関する基本的な知識を身に付け、経済社会の一員としての望ましい心構えについて理解している。



科目名	<b>簿記</b>		教科	商業	単位数	4
教材	①高校簿記(実教出版) ②簿記標準検定問題集(東京法令出版)			教材費 (予定定価)	①1,400円②720円 検定代1,300円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	ビジネスコミュニケーション系列を選択するならば、簿記を勉強する方が望ましい。また、ビジネスに興味があり、就職(事務職)を希望し検定を取得したい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	簿記に関する知識と技術を習得し、その基本的な仕組みについて理解するとともに、適切な会計処理を行う能力と態度を身に付ける。学習の成果として全国商業高等学校協会主催の簿記実務検定を受験する。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書や問題集を用いて、簿記のしくみや適正な会計処理の基礎について学習する。問題集を用いて帳簿の記入は徹底的に反復学習を行う。家庭学習が大切となる。
評価方法	定期考査を実施(知識・理解)、授業への取り組み方の姿勢(関心・意欲・態度)、提出物の状態(思考・判断・表現)、迅速かつ正確な帳簿作成(技能)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
簿記の基礎	簿記の意味、目的、取引の処理を行うための基礎的な知識な技術を習得する。
貸借対照表・損益計算書の作成	決算整理の方法と財務諸表の作成を学び、決算手続きの基礎的な知識と技術を習得する。
仕訳・仕訳帳・総勘定元帳・転記	会計帳簿の種類や役割を学び、合理的な会計処理を行うための知識と技術を習得する。
各種取引の処理	現金過不足、預金、商品売買、掛け取引、手形取引、有価証券、固定資産税、純資産、税金の記帳方法を習得する。
決算処理・精算表	決算整理、減価償却、貸し倒れ等の処理を行い、清算表・財務諸表の作成を習得する。
伝票処理	3伝票制の伝票に関する記入方法を習得する。
検定問題	検定取得に向けて過去の問題等に取り組む。

評価の観点

関心・意欲・態度	簿記について関心をもち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとしている。帳簿の記入が遅くとも積極的に学習し、努力している。
思考・判断・表現	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	簿記に関する基本的な技術を身に付け、適正な会計処理を行うことを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	簿記に関する知識を身に付け、そのしくみについて理解している。また、正確に金額を導き出すことができる。

科目名	<b>情報処理</b>	教科	商業	単位数	2
教材	①情報処理(実教出版)、②情報処理模擬試験問題集(実教出版)		教材費 (予定定価)	①940円 ②680円 検定代1,300円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	ビジネスに興味があり、パソコン操作が好きで苦痛を感じない人。また、キーボードの入力が得意で早く入力できる人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	情報処理の基礎知識について学習する。また、コンピュータ実習を通してビジネスに関する情報を表・グラフなどを用いて適切に表現するための技術を習得する。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	教科書を用いて、情報処理の基礎知識を学習する。コンピュータ実習を通してビジネスに関する情報を表やグラフなどを用いて適切に表現するための技術を習得する。また、検定があるため過去の検定問題を使用し合格に向けて取り組む。
評価方法	定期考査を実施(知識・理解)、授業への取り組み方の姿勢(関心・意欲・態度)、提出物の状態(思考・判断・表現)、迅速かつ正確な入力(技能)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第1章情報の活用と情報モラル	ビジネス活動におけるコンピュータを利用した情報活用の重要性を学ぶとともに、情報化社会に参画するために必要な情報モラルについて学ぶ。
第2章通信ネットワーク・情報モラルとセキュリティ	情報通信ネットワークの概要と、ビジネスにおけるインターネットの利用方法や効果について学ぶ。
第3章ビジネス情報の処理と分析	表計算ソフトの基本操作を習得し、関数を利用して有用なビジネス情報を導き出すための技法を学ぶ。
第4章ビジネス文書の作成	文書情報がコミュニケーション手段として果たしている役割を理解し、情報の簡略化・明瞭化・印象の強化などの技法を習得する。
第5章プレゼンテーション	プレゼンテーションソフトを利用し、発表資料の整理・作成などの準備から発表までのプレゼンテーション技法を習得する。
検定問題	検定取得に向けて過去の問題等に取り組む。

評価の観点

関心・意欲・態度	情報の収集・処理・分析・表現について関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を活用することを目指して主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	情報を主体的に活用することを目指して思考を深め、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	情報の収集・処理・分析・表現に関する技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	情報の収集・処理・分析・表現に関する知識を身に付け、情報の意義や役割について理解している。

科目名	<b>ビジネス計算</b>	教科	商業	単位数	2
教材	珠算・電卓実務検定演習問題集(実教出版)		教材費 (予定定価)	605円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	ビジネスに興味があり、計算が得意な人。また、就職(事務職)を希望し、検定を取得したい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	電卓の機能を学び、早く・正確に計算ができるようになることが目標となる。学習の成果として全国商業高等学校協会主催の電卓検定を受験する。全員が検定に合格することを目標とする。また、ビジネスに関する計算(割合、度量衡、利息の計算)の方法を学び、実務計算能力を身に付けます。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	実習が中心となる。毎時間電卓を使用して計算を行う。電卓の細かいキー操作を使いこなせるように学習する。時間内に与えられた計算を正確に答え、丁寧に記入できるように学習する。ひと通り計算方法を理解した後は、それぞれのレベルに応じた問題を練習しながら、検定試験に備える。
評価方法	定期考査を実施(知識・理解)、授業への取り組み方の姿勢(関心・意欲・態度)、提出物の状態(思考・判断・表現)、迅速かつ正確な計算(技能)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
計算の基礎	数字の書き方。合理的な数の扱い方と概数・概算。
電卓の使用法	速算電卓の基礎。タッチメソッドの習得。メモリーキーの習得。
普通計算	定数計算の習得。乗算・除算・見取算・複合算・伝票。
検定試験対策	全国商業高等学校協会主催電卓検定の過去の検定問題を解く。
ビジネス計算	度量衡の計算(メートル法、ヤード・ポンド法の計算) 外国通貨の換算(円とドル、円とポンド、円とユーロの計算)。  割合に関する計算。売買・損益に関する計算(代価・建値・原価・定価・値引率・利益率の計算)。  手形割引の計算(割引料・手取金を求める計算) 単利・複利計算(利息・元利合計、元金・利息・期間を求める計算)。  減価償却費の計算(定額法・定率法の計算、減価償却計算表)経営分析の計算(流動比率・当座比率・自己資金比率等を計算)。

評価の観点

関心・意欲・態度	電卓に興味をもち、積極的に取り組んでいる。電卓の操作が遅くとも積極的に練習し、努力している。積極的に上位級にチャレンジしようとしている。
思考・判断・表現	学習で得た知識を技術を活用して売買取引を適切に判断し、電卓の機能を迅速かつ正確な計算能力を目指して自らの思考を深めている。
技能	電卓の技術を習得し、スマートな運指法を駆使している。また、きれいな数字で計算結果を記入することができる。
知識・理解	売買・金融・年金に関する意味を理解し、適切な計算方法で答えを導き出す知識を身に付けている。

科目名	<b>ビジネス文書</b>	教科	商業	単位数	2
教材	①ビジネス文書実務検定②模擬試験問題集(実教出版)		教材費 (予定定価)	①2,000円 ②745円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	3
---	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	ビジネスに興味があり、就職を希望しキーボードの入力が得意で早く入力できる人。また、検定を取得したい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	商業活動に必要な文書処理に関する知識と技術を習得し、機器の操作に習熟させるとともに、文書処理に関する情報を経済活動に役立てる能力と態度を身に付ける。学習の成果として全国商業高等学校協会主催のビジネス文書実務検定を受験します。全員が合格できることを目標とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	様々な文書について学習を行う。パソコンを使用しての文書の作成もする。与えられた時間内に文書を正確に入力できるように学習する。ひと通り作成方法を理解した後は、それぞれのレベルに応じた問題を練習しながら、検定試験に備える。
評価方法	定期考査を実施(知識・理解)、授業への取り組み方の姿勢(関心・意欲・態度)、提出物の状態(思考・判断・表現)、迅速かつ正確な入力を実技試験で確認(技能)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
入力速度の練習	早くキーボード操作ができるように正しい運指法の習得。
タッチメソッドの練習	10本の指を使ってキーボード操作ができるようにする。キーボードを見ないで入力できるように練習する。
ビジネス文書の作成	ビジネスで使われる(通信文・依頼文等)文書を作成する。また、文書作成ソフト(ワード)の機能を効率よく使って文書を作成する。
検定の筆記問題の学習	筆記試験もあるので、過去の問題を用いてその学習をする。
ことわざ・四字熟語・漢字の練習	検定試験で漢字も多く出題されるので、漢字の学習をする。
検定試験の取り組み	それぞれが受検する級に合わせて学習する。
ワードの様々な機能についての学習	検定で使われないワードの機能を学習する。

評価の観点

関心・意欲・態度	文書作成に興味をもち、積極的に取り組んでいる。キーボード操作が遅くてもあきらめず、前向きに努力している。様々な機能に興味がある。
思考・判断・表現	ビジネス文書の作成方法を理解し、表現することができる。
技能	文書作成の技術を習得し、スマートな運指法を駆使している。
知識・理解	文書作成に必要な罫線・ルビ・文字の拡大・オブジェクトの挿入などを理解し、適正に文書に作成することができる。

科目名	<b>社会と情報</b>		教科	情報	単位数	2
教材	①最新社会と情報 新訂版(実教出版) ②最新社会と情報 新訂版 学習ノート(実教出版)			教材費 (予定定価)	①945円 ②594円	

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させる。 情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して、情報を収集、処理、表現させる。 効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	1単位時間を教室にて講義形式、1単位時間をメディアルームにて実習を行う。
評価方法	各学期に定期考査を実施。 授業・演習への取組の様子と、ディスカッションへの参加の様子などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第1章 情報社会とわたしたち 情報社会 情報とメディア 情報モラルと社会のルール	情報と知識、情報化の「影」について 情報のデジタル化によるコミュニケーションの変化 情報の残存性・複製性・伝播性、情報とメディア メディアリテラシー、情報の信憑性と信頼性 個人情報の意味と個人情報保護法 知的財産権、産業財産権、著作権の構成と各権利の内容
第2章 情報機器とデジタル表現 情報機器とデジタル デジタル表現	情報機器の種類と特徴、インタフェース デジタルカメラの原理や画像・映像の処理 アナログとデジタル、2進数と10進数・16進数 周波数・周期の関係や、標本化定理
第3章 表現と伝達 表現の工夫 表計算ソフトの利用 プレゼンテーション	情報伝達する際の留意点 わかりやすい情報伝達 表計算ソフトへのデータ入力、相対参照と絶対参照 グラフ、関数、データの抽出と並び替え プレゼンテーション実施と評価 静止画と動画の利用効果、画像と音声の利用効果
第4章 コミュニケーションとネットワーク コミュニケーション ネットワーク 情報セキュリティ	メディアの発達の歴史とメリット・デメリット 同期・非同期によるコミュニケーションの分類 回線交換方式とパケット交換方式 パケット交換方式の長所と短所 コンピュータウイルスの種類とその対策 共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式
第5章 情報社会と問題解決 問題解決	問題解決のための手段の選択 ブレインストーミング、KJ法

評価の観点

関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
思考・判断・表現	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。
知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。

科目名	<b>情報テクノロジー</b>	教科	情報	単位数	2
教材	情報テクノロジー(実教出版株式会社)		教材費 (予定定価)	990円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	2
---	--------	--------	---

選択の条件	選択科目「アルゴリズムとプログラム」「ネットワークシステム」を同時に履修することが望ましい。(連携した授業内容が多く、この科目のみでは理解が深まりにくい)
選択のめやす	コンピュータに強く興味があり、将来、情報系への進学や就職を希望する人を対象とする。 情報系の資格取得を志す人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	ハードウェアとソフトウェアに関する内容の理解を深める。 コンピュータシステムおよびネットワークシステムに関する構成要素とその関係の理解を深める。 ITパスポート(国家試験)の合格を目指す。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義・演習とディスカッション形式が中心の授業。 理解をより一層深めるために、学期ごとに数回実習授業がある。 演習では、ITパスポートに出題された過去問題を積極的に利用して、コンピュータに関する理解を深める。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習への取組の様子と、ディスカッションへの参加の様子などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第1章 ハードウェア 1節 コンピュータの種類と構成 2節 コンピュータの内部処理 3節 周辺装置 4節 標準化団体	・コンピュータの種類と特性, ハードウェアの機能と構成 ・2進数・16進数, AND・OR・NOT・XORの論理回路など ・ハードディスクの構造や容量, アクセス時間など ・標準化の必要性や, 各標準化団体の役割など
第2章 ソフトウェア 1節 オペレーティングシステムの仕組み 2節 アプリケーションソフトウェア 3節 情報コンテンツに関する技術	・システムソフトウェアとアプリケーションソフトウェア ・言語の種類, 言語プロセッサ, マークアップ言語など ・情報コンテンツの概念や保護など
第3章 情報システム 1節 情報システム 2節 ネットワーク 3節 データベース	・情報システムの処理形態や利用形態など ・インターネットの概念, TCP/IP, サービスの種類など ・RDBの基本, E-R図, データの正規化など

評価の観点

関心・意欲・態度	情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報分野の諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。

科目名	<b>ネットワークシステム</b>	教科	情報	単位数	2
教材	ネットワークシステム(実教出版株式会社)		教材費 (予定定価)	1,155円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	選択科目「情報テクノロジー」「アルゴリズムとプログラム」を同時に履修することが望ましい。(連携した授業内容が多く、この科目のみでは理解が深まりにくい)
選択のめやす	コンピュータに強く興味があり、将来、情報系への進学や就職を希望する者を対象とする。 情報系の資格取得を志す者。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	ネットワークを構成する機器の働きとデータが転送される仕組みを学ぶ。 小規模ネットワークシステムの設計を行い、安全な運用ができる基本的な知識を身に付ける。ITパスポート(国家試験)の合格を目指す。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義・演習とディスカッション形式が中心の授業。理解をより一層深めるために、学期ごとに数回実習授業がある。演習では、ITパスポートに出題された過去問題を積極的に利用して、コンピュータに関する理解を深める。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習への取り組みの様子と、ディスカッションへの参加の様子などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第1章 ネットワークの基礎 1節 ネットワークシステムとは 2節 ネットワークを構成する要素 3節 ネットワークアーキテクチャ	ネットワークの基本形とそれぞれ特有の課題など UTPケーブルを中心とした伝送媒体の特性など LANの接続形態とOSI参照モデルなど
第2章 TCP/IPとインターネット 1節 TCP/IP 2節 インターネット	TCP/IPでのプロトコルの階層構造の働きなど インターネットへの接続方法など
第3章 ネットワークの構築 1節 ネットワークの分析 2節 ネットワークの設計	物理配線マップとアドレスマップ, 情報計算など 小規模LANの設計方法
第4章 ネットワークの運用と保守 1節 ネットワークの運用 2節 ネットワークの保守 3節 ネットワークの安全対策	ネットワークの運用に必要な管理項目を理解する 定期保守, 事後保守, 予防保守など 不正アクセス防止, マルウェア感染予防と対策など
第5章 データ通信関連技術 1節 データ通信の技術 2節 関連技術 3節 ネットワーク関連法規	電気通信サービスとそこで使われる機器の役割 変調, 符号化, 誤り制御, 同期制御など 電気通信事業者, 電波法の概要など

評価の観点

関心・意欲・態度	ネットワークシステムの利用や構築について関心をもち、その改善・向上を目指して積極的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	安全で快適なネットワークシステムの利用と構築を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ネットワークシステムに携わる者として論理的に考えて判断し、正しく表現できる創造的な能力を身に付けている。
技能	ネットワークシステムに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、要求をもとに合理的にネットワークを設計し、構築にその技術を適切に活用している。
知識・理解	情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。

科目名	<b>アルゴリズムとプログラム</b>	教科	情報	単位数	2
教材	アルゴリズムとプログラム(実教出版株式会社)		教材費 (予定定価)	990円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	選択科目「情報テクノロジー」「ネットワークシステム」を同時に履修することが望ましい。(連携した授業内容が多く、この科目のみでは理解が深まりにくい)
選択のめやす	コンピュータに強く興味があり、将来、情報系への進学や就職を希望する人を対象とする。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	アルゴリズムの基礎を理解する。プログラムの基礎を理解させ、簡単なプログラムを作成できるようになる。サブルーチンや関数、グローバル変数やローカル変数などを正しく使えるようになる。ITパスポート(国家試験)の合格を目指す。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義・演習とディスカッション形式が中心の授業。 理解をより一層深めるために、学期ごとに数回実習授業がある。 演習では、ITパスポートに出題された過去問題を積極的に利用して、コンピュータに関する理解を深める。
評価方法	学期に、定期考査を実施。授業・演習への取り組みの様子と、ディスカッションへの参加の様子などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第1章 アルゴリズムの基礎 1節 アルゴリズムの基本要素	構造化定理の意味と基本制御構造など
2節 処理手順の図式化	アルゴリズムを流れ図(フローチャート)で表現する
第2章 プログラムの基礎 1節 いろいろなプログラム言語	プログラム言語の特徴、インタプリタとコンパイラなど
2節 基本的な命令文	データ型、変数と定数、型変換や演算子など
第3章 プログラミング 1節 配列	変数と配列の違い、文字型データの取り扱いなど
2節 関数	関数やサブルーチン、主プログラムと副プログラム
3節 応用プログラム	数当てゲームのアルゴリズムやプログラム作成
第4章 数値計算の基礎 1節 基本的な数値計算	合計、平均、分散、標準偏差の計算方法など
2節 アルゴリズムの工夫	真値と近似値、誤差の種類、情報落ちなど
3節 数値計算の活用	方程式の近似解を求積法、ニュートン法など
第7章 整列 1節 整列とは	整列の意味やその方法、整列アルゴリズムの効率など
2節 交換法	交換法による数値の並べ替えのプログラムを作成など
3節 選択法	選択法による数値の並べ替えのプログラムを作成など
4節 挿入法	挿入法による数値の並べ替えのプログラムを作成など

評価の観点

関心・意欲・態度	情報の各分野に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。



科目名	<b>情報デザイン</b>	教科	情報	単位数	2
教材	情報デザイン(実教出版株式会社)		教材費 (予定定価)	915円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	コンピュータを活用したデザインに興味がある人。
選択のめやす	コンピュータに強く興味があり、将来、情報系への進学や就職を希望する者を対象とする。 情報系の資格取得を志す人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	コンピュータによるデザインに関する基礎的な知識と技術を身に付ける。 問題意識、美的判断力、情報活用能力、企画・計画力を身に付け、上質なデザインを創造し、応用する能力と態度を育てる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	講義・演習とディスカッション形式が中心の授業。 理解をより一層深めるために、学期ごとに数回実習授業がある。
評価方法	各学期に、定期考査を実施。 授業・演習への取り組みの様子と、ディスカッションへの参加の様子などを総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第1章 デザイン・情報・造形の基礎 1節 デザインって何だろう 2節 情報ってなんだろう	デザインと合目的行為、アイデアと工夫 倫理観や社会的意識とデザイン コミュニケーションとシンボルの共有、情報伝達の歴史
第2章 デザインと表現 1節 デザインの造形要素 2節 造形要素の構成 3節 観察から表現へ	5つの要素(形態・色・材質感・空間・時間) 色と光の関係、光の三原色、色料の三原色、色の三移動や回転、反転、拡大と縮小、ディストーション、分割 人々の行動や社会現象、簡潔に表現するプロセス さまざまな表現技法
第3章 デザインの実際 1節 身近な生活のデザイン 2節 多くの人に知らせるデザイン 3節 情報の理解を助けるデザイン 総合演習	「自分」と「学校」と「ショップ」をデザイン 宣伝活動としてのプロモーション・デザイン インフォメーション・デザイン

**評価の観点**

関心・意欲・態度	情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。

科目名	<b>美文書デザイン</b>	教科	総合	単位数	2
教材	30時間でマスター Office2016(実教出版)			教材費 (予定定価)	1,100円

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	2
---	--------	--------	---

選択の条件	就職や進学にとらわれず、今後必要とされるICTスキルを高めたいと考える人。 ICTプロフィシエンシー検定の資格を取得したいと考えている人。
選択のめやす	コンピュータに強く興味があり、将来、情報系への進学や就職を希望する者を対象とする。情報系の資格取得を志す人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	情報機器を利用した文書作成の意義を理解し、積極的に美文書を作成する態度を身に付ける。コンピュータやソフトウェアに関する基礎的な知識を習得し、目的に応じた機器の利用ができる。表計算ソフトウェアやワープロソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアなど、場面に応じて適切なソフトウェアを選択して文書を作成できる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	コンピュータを利用した実習が中心の授業。 理解をより一層深めて技術を高めるために、ICTプロフィシエンシー検定の問題等を積極的に利用して、コンピュータに関する理解を深める。
評価方法	各学期に定期考査を実施。 授業・演習への取組の様子を総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
第3章 Word2013 Word2013とは 入力インジケータ 文字の入力、文章の入力、入力の訂正 ページ設定、文書の作成 移動とコピー、文字の拡大と縮小、文字の修飾 表を活用した文書の作成、表の編集 画像や図形を活用した文書の作成 第5章 PowerPoint2013 プレゼンテーションの作成 文字修飾と図形の活用 グラフの活用、SmartArtの活用 アニメーション効果 表の活用と画像の挿入、ワードアートの挿入 スライドショーの資料作成 プレゼンテーションの基礎知識 第4章 Excel2013 Excel2013とは 表計算ソフトとは、データ入力の基礎 基本的なワークシート編集 関数の利用、小数点とセルの参照 罫線、行の挿入、グラフ 条件判定と順位付け 検索関数の利用 Webページを活用した表の作成 WordとExcelの活用	画面構成と起動と終了 文字の入力について キーボードの文字、漢字変換、文節変換、再変換 基本的な文書の構成、右揃え・左揃えと中央揃え 文字サイズの変更、文字の拡大と縮小、下線と網かけ 表の挿入、表の幅の調整、行の挿入、セルの結合 文字の入力、ワードアートの利用、図のスタイル 画面構成と起動と終了 文字の修飾、図形を描く、図形にテキストを挿入する グラフの作成、SmartArtの作成 タイトルのアニメーション、SmartArtのアニメーション 表の作成、画像の型抜き、その他の画像処理 配布資料の作成、ビデオファイルで保存 スライドショーについて 画面構成と起動と終了 ワークシートの表示、表計算ソフトでの文字と数字 計算式の入力、再計算と演算子、書式の変更 合計、平均、最大、最小、相対参照と絶対参照 罫線、表の作成、離れたデータを使ったグラフ IF関数による条件判定、複合条件による判定 VLOOKUP関数、条件に一致するセルの計算 表の作成 WordにExcelの表を張り付ける、データの違い

評価の観点

関心・意欲・態度	情報の収集・処理・分析・表現について関心を持ち、ビジネスの諸活動において情報を活用することを目指して主体的に取り組もうとするとともに、情報を活用する実践的な態度を身に付けている。
思考・判断・表現	ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用することを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。
技能	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動における情報の活用を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。
知識・理解	情報の収集・処理・分析・表現に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、情報の意義や役割について理解している。

科目名	<b>実用ペン字</b>	教科	総合	単位数	2
教材	①「きれいな文字の書きかた」(二玄社)		教材費 (予定定価)	①1,620円 用具用材費:1,000円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	文字を整えて美しく書きたい人。また、作品制作に集中するため私語は一切禁止とするので、それに耐えられる人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	文字を正確に、整えて美しく書く力を身に付ける。 文字文化に親しみ、学習活動や社会生活に役立つ書写能力を伸ばす。 美しい文字とはどのようなものか、自己の理想をもつこと。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	筆記用具として、ボールペン・サインペン・筆ペンなどを使用し、テキストや手本を参考に練習する。
評価方法	練習用プリント、清書用として使用する教科書の提出状況および成果を4観点を基に評価する。授業への取り組みの様子(姿勢や筆記用具の持ち方、集中して実技に取り組んでいるか)を、机間支援や作品を通じて総合的に評価する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
ひらがなとカタカナの練習。 楷書と行書の練習。 文章を書き写す。 手紙やはがきの書き方。 自己推薦書や志望理由の書き方。 履歴書の書き方。 慶弔用表書きの書き方(筆や筆ペンを使用)	テキスト・手本を参考に練習する。  筆記用具は、ボールペン・サインペン・筆ペンなど、それぞれの教材に適したものを使用する。

評価の観点

関心・意欲・態度	集中して授業が受けられている。 書に臨むにふさわしい姿勢、態度がとれている。
思考・判断・表現	状況ごとに応じた、ふさわしい書体で書けている。
技能	教材に適した筆記用具を使用して、表現する技能を身に付けている。
知識・理解	様々な書式について理解し、表現しようとしている。

科目名	<b>マナーと日本文化講座</b>	教科	総合	単位数	2
教材	①マナー検定テキスト『センスアップマナー』(予定)、②独自教材(プリント)		教材費 (予定定価)	①1,950円 ②なし	

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	ビジネスコミュニケーション
---	--------	------	---------	---------------

自由選択科目	選択する学年	3
--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	基本的なマナーを身に付けたい人、日本文化(年中行事など)に興味のある人。就職希望の人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	ビジネスマナー、日本の伝統としきたりについての知識、実践力を身に付ける。マナー検定の合格を目指す。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	ロールプレイング、DVD鑑賞、調べ学習などを通してマナー、日本文化への理解を深める。
評価方法	基本的なマナーの知識の理解度(小テストなどで確認)、電話対応や面接練習などの実技演習の取り組みの様子、課題の提出状況などを総合して行う。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
1学期	
職場でのマナー(1)	社会人としての心得、挨拶、言葉遣い(敬語)を学ぶ。
職場でのマナー(2)	電話対応などを実践を通して身に付ける。
面接練習	「進路のしおり」も用い、面接に向けた練習を行う。
浴衣の着装と立ち居振る舞い	和服の歴史を学び、浴衣の着装実習を行う。
年中行事(4月～8月)	端午の節句、七夕などその起こりなども含めて学ぶ。
2学期	
職場でのマナー(3)	手紙、メールの書き方の基本を学び、実習を行う。
職場でのマナー(4)	訪問と応接、また名刺を作成し実践練習を行う。
食事礼法	箸の使い方も含め、テーブルマナーを学ぶ。
年中行事(9月～1月)	年末年始のしきたりを学びグループで実践学習を行う。
3学期	
年中行事(2月～3月)	節分、桃の節句などその起こりも含めて学ぶ。
冠婚葬祭のマナー	のし袋の表書きなどを学ぶ。

評価の観点

関心・意欲・態度	マナー接遇に広い関心がある。 集中して授業に取り組んでいる。
思考・判断・表現	他者とのコミュニケーションを円滑にするためにどのように行動すればよいかを考察できる。
技能	自分の意見をまとめ、発表、実践することができる。 電話対応や名刺交換など、その場に応じた言葉遣い・対応ができる。
知識・理解	ビジネスマナーを学ぶ目的・手法を理解している。 グループ発表で聞き手に伝わるように表現できる。

科目名	<b>コラム読書考</b>	教科	総合	単位数	2
教材	新聞掲載コラム、独自教材(プリント等)		教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	コラムを通して社会の動きを知ることに関心がある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	コラムから内容を正しく読み取り、それに対する自分の意見を明確にし、発表することができるようになる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	コラムの書き写し、語句の整理、要約、意見文の作成、発表を行う。
評価方法	活動の様子および新聞コラムを用いた独自教材に対する取り組みや達成度を総合的に評価する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 新聞コラムの概略 国語辞典の使い方	新聞コラムとはどういうものか理解する。 新聞コラムを読み、書き写す。
(2学期) 新聞コラムの要約 新聞コラムに対する意見文作成	要約の方法について学ぶ。 要約を踏まえた意見文を作成する。
(3学期) 新聞コラムに対する意見文の発表会	意見を全体の前で発表する。 他人の発表を聞き、意見交換を行う。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	各時間の課題の集中して取り組み、コラムなどを通して社会への関心を広げようとしている。
思考・判断・表現	コラムなどに対する自分の意見を発表し、他人の発表を正しく聞き取り理解しようとしている。
技能	コラムなどの文章の内容を的確に読み取り、その情報を得てものの見方や感じ方、考え方を豊かにしようとしている。コラムなどを正確に書き写し、また、それに対する意見を的確に文章にまとめることができる。
知識・理解	基本的な文章の構成や国語に関する知識を身に付けている。

科目名	<b>カラーコーディネイト入門</b>	教科	総合	単位数	2
教材	①色彩検定3級テキスト		教材費 (予定定価)	①2,916円 別途教材費1,800円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3
------------------------------	--------	---

選択の条件	進学、就職の際に色彩の知識が必要とされる人、カラーコーディネイト3級～2級の資格を必要とする人。
選択のめやす	進学、就職に役立てる為に色彩の知識を学ぶ意欲がある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	色彩の実践活用能力を身に付け、カラーコーディネイター検定試験3級の合格に必要な知識を身に付ける事を目指す。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	色彩検定3級のテキストを使用して、色に関する基本知識を学び、実践的な問題を解いていく。
評価方法	定期考査による評価、学期ごとのノートや課題の提出状況。授業への取り組み。(活動の様子、授業中に話を聞く姿勢、用具の準備や後片付けの様子)

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
色の分類(数値による色の分類) 色の名前(言葉による色の表示) 色と光(色が見える理由) 混色(色で色を作る) 色の見え方(色の視覚的な効果) 色の感じ方(色の心理的な効果) 色彩と構成(色と色の調和) 色彩と生活(色の有効的な使い方)	色彩に関する知識を身に付けるため、テキストを中心に多くの実例を使って色についての理解を深める。実際に出題される試験の問題に取り組み、対応できるように演習を行う。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	説明を聞く姿勢は良いか。授業での準備・片付け、忘れ物等をせずに授業の決まりを守っている。また、ノートはきれいにまとめて提出できている。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせ、色の効果的な組み合わせを発想できる。
技能	基礎的な知識、技能を身に付け、表現方法を工夫して色を効果的に用いることができる。
知識・理解	自他の作品の良さを味わうことが出来る。 自然、課題作品、生活の造形などから色の組み合わせの美しさ、効果を感じ取れる。